

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング（再処理施設(1-39)、MOX施設(1-39)）」

2. 日時：令和3年6月23日（水） 13時15分～18時00分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議により実施）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

（原子力規制部新基準適合性審査チーム）

古作企画調査官、津金主任安全審査官、岸野主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、上出安全審査官、武田安全審査専門職、森野安全審査専門職

日本原燃(株) 村野 理事 再処理事業部副事業部長 他20名

東京電力ホールディングス(株) サイクル技術グループ  
グループマネージャー

北海道電力(株) 原子力事業統括部 原子燃料サイクルグループ 担当

関西電力(株) 原子力事業本部 原子燃料部門 原燃計画グループリーダー

中部電力(株) 原子燃料サイクル部 サイクル戦略グループ 課長

三菱重工業(株) 原子力セグメント 安全高度化対策推進部  
主観プロジェクト統括 他1名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

6. その他

## 参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和2年12月24日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」  
[https://www.nsr.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000069.html](https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000069.html)
- ・ 日本原燃株式会社 MOX燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和2年12月24日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nsr.go.jp/disclosure/law\\_new/FAB/180000124.html](https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000124.html)
- ・ 令和3年6月16日  
「日本原燃（株）再処理施設、MOX施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	原子力規制庁の武田です。それではただいまから日本原燃株式会社とのヒアリングを開始いたします。本日のヒアリングは例は2年12月に申請があった設工認申請に係るヒアリングになります。
0:00:15	本日説明を受ける資料は6月16日に提出があった補足説明資料、それと1.2節に関する説明を受けるということになっております。
0:00:26	規制庁側からの出席者ですが、コサクaハバサキキシノ、カミデタケダになります。部からの参加がツガネaモリノになります。
0:00:39	それでは日本原燃のほうから出席者の確認と、説明資料及び説明範囲、達成目標について説明をお願いいたします。
0:00:51	以上です。年齢の出席者ですが、最終事業部から
0:00:57	ナガサワ坊ータカナシの
0:01:00	MOXからのタカマツ1イシハライトウ
0:01:05	建物耐震関係でFVこしサウトガシ
0:01:10	システム
0:01:11	あと、本日の経営の補足説明資料対応として、安全域すいません上がったときに、
0:01:19	タナカサトウ、イシバシカミタイラの三菱重工さんから高見さんの方が出席しております。
0:01:29	本日の説明ですが、今三つっておりますが、補足説明資料になるんですね、さっきちょっと答弁がありました設工認申請書におけるSs扱いについて、画面共有で資料を用いてご説明させていただきたいと思っております。
0:01:46	その後ですね、補足説明資料もらい説明見させていただきますが、この画面に映っておりますように、耐震機能の重要度逆算防滴①評価手法の適用から説明させていただいて、その次に耐震建物の13番。
0:02:02	アイシン期限13番、耐震建物24万台紙に綺麗に充満説明してですね、定修関東関係の耐震建物25番、耐震基準の順番でそのあとですね、耐震建物ミカミ16番から十八番。最後に例題新基準の21番の資料について説明させていただきます。よろしくお願いいたします。
0:02:24	それではまず最初に設工認申請書における日程Ssの扱いですね、こちらの場面協議で使用いたしながら御説明したいと思います。
0:02:44	電源車でございます。
0:02:47	まず、今回、御社の申請書の添付の市町村扱いということで、下部教員申し訳ございません、ここがずっと大きくにとりまして最もしましてはコサク黄門申請書ベースも使うってことで、小倉長官場所下底ば県の施設の評価が耐震性、

0:03:07	その説明書の別添総務としての使命する形になっておりましたように設計条件等が適切に示されてもいいという認識はございますが、これまでの地盤の集金長野県生まれまして、今後、設工認の申請書の構成をムラノとも話をしたいと考えてございます。
0:03:26	この受け身に押しの検討による指導者インボルブ重大事故対処設備兼設計方針として、川口信金としては上部事故等対処設備に対する設計方針も示させていただきます。今まで僕の方角性にとりか教育の強化という形の示させていただきますと。
0:03:44	また元金設計方針で臨みますので事項等対象設備の健全性説明書、これは検討させていただきますと、ナカムラはもしくはお手数事故等対処施設に対する設計方針を記載をさせていただきます。
0:03:58	耐震性に関する説明書の別添図1のCAPEということで、渋滞の役付円滑モリノ明らいていきたいと思います。ただ2ということで、耐震建築事務所がベル仕事しかし計算方法を今後の審査をしていただく。
0:04:17	ということになるための音声は進捗中でございます。
0:04:23	この形式膨潤添付書併記載事項につきましては共通で受けた各200円前回として今後見直しをして説明させていただきますので、レベルを支部わかめ見解としては縮小していただきさせていただきますと考えておりましたもございません。
0:04:41	6ページ目の意見を収集対象文教事項を含めませんなんですが、安全新車の壁の市長さんもさせていただいたという認識がございましてblankもやっぱり炉心を示させていただきます。
0:04:58	全停電を申請書に対する要求事項につきましては、同じことを対象に実施主体は妨げになることからLinuxM子ども手当ことが文献に書いてございます。本飛び込む期中な結果でございますが、恐縮でございますが、の場合は、本当に進むかは十分自己改善、
0:05:18	設置されるスコープぐらい倒壊当社グループMOXの嘉門専務資金も底なのかというようなおけるのと思っております。
0:05:27	それをベースに設計されますのが事故の件数は固定するロックする部局のフロアの中に津波ボックス排気設備なくて、まだ倒壊損壊することになるというのが文献と思っております。とめの物理現象管理日光ページ等で分離を明確に見ますがやること自体、
0:05:47	これは償却全体見てまず倒壊しないことを目視のための本数が資金のそのこのこの引き継ぎの部分でございまして、これに対して、建物としての原因究明モグらたたき見せてることが必要だとか指揮でございます。

0:06:02	エレベーター部分に示すための数値としてお示しを示すよう耐震の戦略が9年間2000万円分を満足するというごさいます。こういったのは向こうみたいな部分が事故とか見ている場所下請けムラノ基準を超えるということでは、
0:06:19	ご協力遅滞するかということの考え方でございます。
0:06:23	耐震変える前の部分につきましては弱含みまして、それに対してされておりましたは、非常によろしいな部分も興味深い連続するということであれば、それもちろん規模とかコミュニケーションができると思っておりますので、
0:06:41	耐震壁というものも今日として評価を示していくという整理でございます。誤開カメラの倉庫に何回も言っているが正式に取り込む機器としまして全部業務実態を確認して10万を超える体制というものにしていると。
0:06:56	東洋紡を通して確認してそれを示していくことも必要であるということを考えておりました、結果考えだけでもちゃんと添付書類に基本設計方針を示した上で展開をさせていただく必要があると認識を持つということでございます。以上です。
0:07:34	規制庁コサクです。
0:07:37	何となくわからなくはないんですけど、
0:07:42	今整理いただいているのって、もう、そもそもそういうことで話してませんでしたっけっていうような気がするところと、一方で評価の内容については、再処理のほうの建物の扱いとどういう関係なんだっていうのがよくわからないので、
0:08:01	そのあたり含めてご説明いただけるといいかなと思うんですけど、何か左右の違いはあるんでしょうか。ふうん及びイシハラございしますが、ここで話していたのは、ちょっとそういう方向へ指導させていただいたと思うんつき業務のうちの対応できなかったと思う。
0:08:21	南口という配置のために見させていただいたということでございます。その上で別途やる新しいことを手元にごさいます。最初の関係でいきますと、最初に飲みながらこの肯定するとかいうところはまさしく整理な中途とビタミン生徒病名パーク深部へ延ばしにしたいと思ひますし、
0:08:41	あとはもう嘘目視も合計点数みたいなものっていうのが先週のセルの中に入っている機器自体は部分的にちょっとカミデだということで、今回の基準というふうにごさいます。
0:09:01	イトウ
0:09:02	規制庁カミデです。
0:09:04	すいません聞こえてますかね。
0:09:07	はい、ありがとうございます。

0:09:10	今の説明されたところの今画面映っている。
0:09:17	なお書きのところですかね。結論として建物としての変形能力が維持。
0:09:23	されていることを確認するということで、その変形能力については、
0:09:29	せん断ひずみで見ればいいんですという話なんですけど、その変形能力だけを見れば、重大事故等対処施設に必要な機能というものが維持されるっていうところが、
0:09:45	まだ説明が足りないかなと思うんですがいかがでしょうか。
0:09:51	イシハラでございます。今のカミデさんの御指摘におけますと、いわゆる経営と現場に行くかということになりますのであれば、我々としてはもう協会における保守のところの最初のポツに書きましたというふうに思う事項等対処に際しての妨げにならないということも、
0:10:11	ご覧の進め方でのご質問資金がいわゆる
0:10:17	中期のメンバーの推薦会するいわゆる超えて数分持たなきゃいけないということとリコール上書いてございまして、に關しますでもここ大きく期待をするといったことも念頭に配ると。
0:10:33	黒線ができるかなと思ってたんですが、それをやるのかも例えば最初に対して影響が出てくる部隊として説明する必要があるとか重大事故対処設備場所の線もちゃんと機能する場面も含むという文化文献があるんじゃないかということでしょうか。
0:10:49	はい。
0:10:51	はい。そういう意味で聞いてますんで、この部分は
0:10:58	31条かつ再処理でいうと31条の部分と、若干違うところがあってせん断ひずみだけで見るという31条場合だと他の応力等も見ますよということなんですけど、
0:11:13	いや、それで重大事故等対処施設の機能が維持できるということを剪断ひずみたわけですね、なぜいえるのかっていうところが、一応ざっくり今日説明されたとは思いますが、
0:11:31	基本的にはこの話は、耐震01のときにお話をしてそちらもまた説明しますと言われた事項で基本的には共通06款の展開の基本設計方針関係のところ
0:11:46	中身を聞くものと思っていましたので、詳細はそちらで話を聞こうと思いますので。
0:11:55	それでなんですけど、今日の話ここでするかの意図でどこまでの話を今日我々としたいのかというか、ちょっとよくわからなかったんですけど、それはどうということなんでしょうか。

0:12:09	何にもイシハラございます。件目より心配。
0:12:13	事象進展風疹数が二つ併記してあるものが資料なりってどこまでも、今回の審査会もまさにそうかということに対してはSs運転の所則競売としてはこういう廃棄物の問題でたのが多分専門家処分すると、
0:12:34	お話も整備していきたいと思うんだと思うんですが、昨日ちよつとうちのほうで認められなかったとしても、金属の筐体頑張ったのであれとしてはイトウ平米数ヶ所質問させていただきたいという前提でお話をさせていただきました。RSW考え方野球の収集をしておられるので申し上げまして、これは確かにおっしゃる通り、
0:12:54	処分庁にそういう転売していくアルバムエムスがあった物性がイシバシに示させていただいた部分のスピード感の運営委員数キロということで考えてございましたということでございます。
0:13:10	規制庁込みですと
0:13:13	こういう説明された内容をきちんとまた理論立てて、今後していくということで話を実行委、その点の話を理解しますと、あと一方で、
0:13:24	よくわからないんですけど会合資料の書き方をどうするかっていう相談なのかと思う、思うんですけど、それはどういうふうにされるんですか。
0:13:41	イシハラ決め埋めるバラバラ管理をして示すと書いてあった資料持っておりますけども、今回の上関も含めた形の審査していただきたいというと、審査委員会なんかでも御説明させていただきたいところ頑張ってくださいました。
0:14:01	規制庁カミデです昨日の話だと、まず今現段階で静水の評価を確定しているのでその範囲を示しますと言っていたと思うんですけど、それをまた今日の説明では変えて、もっと域で資料を作りたいと、そういうことをおっしゃってるんですか。
0:14:20	イシハラでございます。大変恐縮でございますがそういうことでございます。
0:14:34	規制庁カミデです。
0:14:37	この件ですね、
0:14:40	もともと3月の耐震01のヒアリング、また5月の耐震01のヒアリングで説明してくださいと言っていてですね、特に5月のときには、そういう機能が
0:14:57	機能保持というものがせん断ひずみだけで説明できるということについてきちんと話をしますということ
0:15:07	お話を聞いてきていますので、その説明がないままですね、あの会合資料に説明なしに、もともとの考えのまま、結果がすべて出てくるというところが

0:15:23	ちょっと問題かと思っていますので、その話がまだ終わっていない状況では昨日の修正した形で説明を受けるとというのが筋かなと思うんですけどいかがでしょう。
0:15:49	イシハラでございます少々待ちください。
0:18:04	今なお以降も、
0:18:18	学生数m下と上のサトウです。
0:18:23	2点目はタケダない部分が画面ですが、おりこん継ぎ手し周知のひずみの強化を行うことで、重大事故時棒設備部アンケート健全性を評価できるという設備については、
0:18:42	今回の説明をさせていただいたのかなと。
0:18:48	この後説明ございまして、
0:18:54	新しい現実的には話をしたいのですね、御説明させていただきたいと思えます。
0:19:04	それを踏まえてですが、
0:19:09	気相部SaaSにちょっと絡む評価というか要望出したということにはなっています。
0:19:16	おります。
0:19:18	ほぼ
0:19:20	大分違うピット部分。
0:19:24	本日はいます。
0:19:28	次の方もやという部分を除いた形で御説明させていただいて、この後、
0:19:41	耐震壁のひずみの評価重大事故事務設備は青の影響評価なりはしっかりできるということを確認いただいたような説明を評価もう一度
0:19:57	新しいさせていただくという形にしたいと思いますが、
0:20:02	それではとして質問させていただきたいと考えております。以上です。
0:20:28	規制庁込みです。
0:20:31	今の話は会合資料は昨日言われた通り、現時点でSsの結果ですと、確か応答結果のグラフともSsだったと思うのでそれはそれで構わないと思うんですけど、そのあと1.2、Ssについては、今日説明されたような内容を
0:20:50	しかるべき資料2の考え方を整理して再度説明するということをおっしゃってたんですかね。
0:21:01	弁サトウですね、そのように説明しました。はい。
0:21:16	規制庁コサクですけど、1.2整数についてどういう説明をされるおつもりなんですか。
0:21:27	はい。



0:21:29	タテウチサトウですね、これを先生御質問の趣旨は考える部分。
0:21:36	説明をいただくということでしょうか。
0:21:39	規制庁補足です。そういうことです。
0:21:46	ちょっと、
0:21:48	佐藤氏、
0:21:51	については先ほどと同様という御説明でした。状況ですので、もちろん先生モデルについて御説明させていただきたいと思います。
0:22:05	規制庁輸送規制庁コサクですけどそうすると先ほどカミデがしかるべき資料でって言ったのが、そうですというとして話がずれていると私は思ったんですけど。
0:22:16	ということですか。
0:22:30	違う。おっしゃる通りです関連病院さんの窓口上期終了ということについては、これもG0 清水外部のしかるべき説明がございました。
0:22:47	病院に行くおりました。
0:22:50	そうですね、規制庁不足ですけど、ということは、宿題事項としてペンディングにするってということですね。
0:22:59	それを明確にしてもらわないと。
0:23:02	1.2 節を忘れているかのような説明をされても困るんですけど、その点はどうか考えてますか。
0:23:12	教育プログラムにサトウです。我々説明するケーブルテレビでセンスについては御説明みたいに思っておりますがしかるべきキシノがないと検知順番か指定を楽しくないというふうな
0:23:28	やっぱり外部しゃひどいよそうする装置のルールはあてる事項になってしまうかなというふうに加えました。
0:23:37	以上です。
0:23:39	規制庁コサクですけどそちらが言いたいことがあるなら別にいうのとは言いませんで、行った上で我々としてはその考え、理解できないので改めて整理してくださいというような指摘を介護とすればいいだけなんですけど。
0:23:54	どういうお考えで今言われているのか、ちょっと私は理解できなかったんですけど、原燃としてという対応方針できるんでしょうか。
0:24:05	イシハラでございますので都政も先般のも入れかわり立ちかわりで、静水腹部興味示すの話もしなければいけないというベースがあるというのはあったとしても認識をしてやってもらうしかるべき回答ができてないという状態にある機器もしていますので、

0:24:22	4棟ただ等による精神求めるも含めてちゃんと示さなきゃいけないという項目があることはしっかり等公開に目をお示しをする必要があると思ってます。ある程度考え方を示して駐車していただいた上で、細部について、これは迎えないので。
0:24:42	その再度説明することというような仕組みだけでも私は考えがたいといった説明させていただくというのが、この工数に研究前向きにお知らせしているわけじゃないんで、その一つ目は、審査会合でさせていただくべきかと思いますがいかがでしょうか。
0:25:03	規制庁コサクですけど、まさに被イシハラさん言われた通りで本件も別にイシハラさんが関係してたわけじゃないからも
0:25:13	なかなか大変だと思うんですけど、何でこのタイミングでこんな話してるんだってというのは非常に理解できなくてですね、1.2 整数で建屋を設計をすることは許可で十分話をしていたわけで、それに対する設計方針というのは申請されてからなんで。
0:25:31	もう半年経ってるわけですかね。
0:25:36	いう状況で予定入口の議論を始めるのかということの説明戦略が全く理解できないところなんですけど、その辺りは実態、何だったんですかね。
0:25:52	ちょっと年寄り担当の
0:25:57	責任者の方の理解をお聞きしたいんですけど。
0:26:11	はい。
0:26:13	三番目ですね。
0:26:18	英語
0:26:21	新しい会計担当しています。
0:26:25	きちんとしてあげる。
0:26:28	整数決裁文書の
0:26:34	建物の隆起量というものを満足する部分はあるんだからずっと言ってるんですが頻繁に
0:26:43	両せん断ひずみを十分を借りるというちょっとそういった取り組みがずっと
0:26:51	あつて、そこを雨を3点ですかね。
0:26:57	なるほどね 60分以降に説明するという行為がちょっとずっと遅れていた。
0:27:06	ということであればやるべきことがやっていたつもりだったというのが一体それに関する
0:27:18	どっちがそれを呼びかける売差みたいなことを説明し切れなかったというような合わせわざだからというところでございます。
0:27:29	以上です。

0:27:32	規制庁コサクですけど、何でそんな思い込みが成り立ってしまうのかっていうのは、先ほどご説明いただいた最初の部分にあつて、書類をちゃんとしたものを作る気がなかったから炙り出されなかったっていうことなんだと思うんですよ。
0:27:49	方針を変えていって積み上げてしっかりとした添付書類を作るということ
0:27:54	当たり前に思っていればおのずとそこを考えざるを得なくて、対応とついていたはず。
0:28:00	なのです。
0:28:01	少なくとも再処理はそういった議論を許可のときに、もう少しして、構成を
0:28:08	設計の考え方としての構成を考えていたとされていて、
0:28:13	それを踏襲するようにMOXもやられるのだらうと思ったからあまり議論しなかったんだと思うんですけど、なので今日一番最初に私大きなのは、最小値との関係でどうなんでしょうかと。
0:28:25	ということをお聞きしたのです。
0:28:28	そこも多分十分認識をしていない或いは再処理等は地学的だと思い込んでいたと。
0:28:34	ということのようにも思うんですけど。
0:28:38	最初にこの程度の認識まだ
0:28:42	だとしたらちょっと最初にもちょっと困るんですが再処理の場合は、第1回の申請がないのでより一層、頭が回ってないのかもしれないですけど。
0:28:58	いずれにしても、
0:29:02	その添付書類をちゃんと書けてないっていうのは、申請の前から申し上げていても1年前から書類としてこういうのが必要だよというようなお話はさせていただいて、議論をしていたのに理解していないという
0:29:18	ことなので非常に問題が大きくてですね、
0:29:23	申請を
0:29:27	修理してしまったのもちょっとうちの問題なのかもしれませんが。
0:29:36	審査のスタートに立ててないわけですよ、ちょっと困った状況なので
0:29:44	今回の会合においては、状況としては説明をいただきつつ、整理をして共通00 共通06を踏まえて、00 成立で整理をしようと。
0:30:01	いうところから1から考えて
0:30:04	説明しますと、
0:30:06	いうことでオオオカをお話しいただかないといけないかなと。

0:30:13	思いますし、他のしょっカー地盤モデルとかですね、隣接と同じように、方針を示した結果を示しということで、手順を踏んで進めていただければというふうに思います。
0:30:31	とりあえず私から申し上げられることは以上ですけど。
0:30:35	原燃としての対応方針なり、何かお話があればお聞きしたいと思います。以上です。
0:30:45	先ほど
0:30:50	写真
0:30:51	収載を固めてから、ちゃんとした評価結果がちょっと出ていってないといった実態がありましたので、まず取り組んでちょっと
0:31:06	今後の対応については整理していきたいと思います。Tallサガワの
0:31:13	28日の審査会合においては、先ほどイシハラから見ましたように一旦我々の考えについては御説明させていただきたいと思います。申し訳ございませんでした。
0:31:28	以上です。
0:31:50	どうぞ。
0:31:51	規制庁込みです。そうすると会合資料は、また2転3転しますけど、
0:31:59	そうなりたいですかね、昨日話聞いた通りだと今、Ssと1.2Ssの耐震平均のひずみについて。
0:32:08	表情をスポーツー一定に清掃を書いてありつつも、せん断ひずみの値は1個しかなかったもので、1.2Ssーせん断ひずみのあたりも加えたような状態でまず会合には提出されるという理解をしましたがそれでよろしいですか。
0:32:30	はい。
0:32:31	2行目サトウです。先日の調べよう債務ビニル等の地学与えるならないというようにご質問を確かあってですね、きっちり分けますと、いうふうにその時はご説明させていただきましたので、周辺でのシーケンス名ひずみ幾ら言ってみえ設備
0:32:51	いいかっていうような形でお示しさせていただきたいと思います。以上です。
0:33:00	はい。規制庁込みですわかりました。よろしく申し上げます。
0:33:12	規制庁紙ベースこの件、
0:33:15	ほかに何か確認しておきたいこととか、何かあるんでしょうか。事業所のほうから、
0:33:33	イシハラでございます。この件、ありがとうございます。ほか特にございません。

0:33:48	規制庁タケダです。それではいっぺんに整数についての議題は以上とさせていただきます。
0:33:55	では続きまして補足説明資料の確認に進みたいと思います。
0:34:01	それでは、最初の資料が耐震記念 14 でしょうか。
0:34:07	こちらについて補足で説明する内容がございましたらお願いいたします。
0:34:14	今までの幅でございます。それあの耐震基準 14 番のほうについてでございますとこちらの資料はですね、時約 4 億 01 に定められた、まずいきつつ、事象の項目使ってですね評価スタートしましたよという整理をカミデ以下、
0:34:34	しまして、市の方には時約 6①から外れた場合は超えて検討しますよというふうに新聞を整理した資料になってございます。ナカムラにつきましてはご覧いただければと思いますんで確認をよろしくお願いいたします。
0:35:21	60
0:35:23	はい。それではこの資料につきまして規制庁側から確認事項がございましたらお願いいたします。
0:36:16	規制庁カミデです。
0:36:20	まずですね
0:36:23	資料なんですけど。
0:36:25	タイトルざる冷却塔の動的機能維持評価といいつつ、
0:36:31	本文の中身だと何か全体の話をしているような感じもするんですけど、これ申請全体を見渡して、どういう位置付けなのかこれを説明しなきゃいけないのは、
0:36:46	本当に冷却塔だけなのか。
0:36:49	といった点をまず教えてください。
0:36:57	メンバーの方でございます。すいませんですね作成に人としては浅部冷却という意味合いも含めて全体を示しまして、破損モード別紙 1 もですね冷却棟以外で外れるパターンというふうに
0:37:15	整理しなかったと。
0:37:18	まず考え方はそういう考え方でございます。そういう考えに照らしてちょっと書いとるし、
0:37:25	ちょっと説明物資のタイトルとか、まあ、冷却塔が登場してございますので、ちょっとこの記載を適正化したいと思います。以上です。
0:37:36	はい。規制庁カミデです。タイトルであったりか要覧その他ですね、ちょっと目的に合うようにしてもらって減るようにお願いします。あと私の方から
0:37:52	8 ページなんですけど。

0:37:56	下から4行目ぐらいそのためというところで、これ用語の問題だけなのかもしれないんですけど、新たな検討っていうのがちょっとよくわからないところで、
0:38:12	この手法自体は他の説明資料の耐震記念13とかだとファンの動的機能維持評価の方法で既工認と一緒にですって言っていてですね、ちょっと新たな評価っていう言葉と、
0:38:28	その説明がギャップがあるように思ってるんですけど、ちょっと実態どういふことなのか説明いただけますか。
0:38:41	専務さんですけど、今の御質問の通り、こちらの新たな検討っていうのは向こうのページのフローなんですけど、7ページのフローで②で新たな検討って言ったポンプをさせて実際にやっている動的機能維持評価のうち、
0:38:59	長期的に見て評価自体は従来からやってきているものとなっております。
0:39:08	規制庁カミデです。あと加えてなんですけど、今回の説明資料を
0:39:15	は、
0:39:17	例えば2ポツ以降から大体中身の話がありますけどどっかどこから学校既工認と一緒になのかっていうのもちょっと説明いただけますか。
0:39:33	増。
0:39:35	2番目ですけど、10分特別紙1カ年後具体的に極東適用した場合の償還の詳細を記載してます、従来、既認可の当冷却塔の前ファンの動的機能維持評価については、
0:39:52	解析でやらせてもらってましてその具体的な中身をどうやってくる中心部選びましたかっていうのを記載してますので、ちょっと別紙1から先が全部義務化えっと、冷却塔の強化に特化している部分になります。
0:40:06	はい。
0:40:09	規制庁カミデです。
0:40:11	そうすると、7ページのフローはフェイスも入っているので、
0:40:19	既工認と同じっていうわけではないので新たに
0:40:26	示したフローということであれば、
0:40:30	②番の名称ですかねその新たな検討ということをちょっと記載の適正化を行うか、もしくは8ページのそのため、新たな検討としてというところで、機構に通りますよという話を入れるかと思うんですけど。
0:40:48	公社の方だってやはり文章的に余りにもおかしくなるのでちょっと銅の辺が既工認と一緒になのかというところをちゃんと明示するようにした上で文言関係少し適正化整理をいただければと思います。
0:41:07	今現在ですちょっとこの抽出結果へと8ページのところの一番、一番バスのタイトルも含めてちょっと検討します。

0:41:18	はい。
0:41:19	規制庁カミデですかと私から最後 14 ページなんですけど。
0:41:26	第 2-1 表ですか、ちょっと中身に関してはマスキング対象になってますけど。
0:41:33	流量とか適用範囲、
0:41:37	ていうのがこれ同じものとして、
0:41:41	比較できるものなのかというのがよくわからなくてですね、流入流量っていうの 込まで流量であって適用範囲を剥ぎ範囲聞き終えているのでどちらも流量な んで図というばあのこういう流量とこういう流量を比べてるっていう説明をいた だければと思うんですけど、ちょっとこの辺わからないので説明してください。
0:42:14	このじゃんじゃNDA等ちゃうじゃん適用範囲の国立で無料という話ですの で、ここにちょっと流動場っていうふうにも付け加えさせていただきます。
0:42:26	はい。
0:42:29	はい、わかりましたような適用範囲っていうのはその流量の適用範囲だってい うことですね。
0:42:36	ドラム缶で即その通りです。
0:42:40	はい。ではそういうふうに明確化していただければと思います。
0:42:46	14 については、私からは以上です。
0:42:54	その他、規制庁側から確認事項ございますでしょうか。
0:43:00	ではよろしければ次の資料の事実確認に進みたいと思います。次は耐震建物 23 でしょうか。こちらについて日本原燃の方から補足で説明する内容がござい ましたらお願いいたします。
0:43:18	はい、岡田でございます耐震建物民事が 3 ですね、部下の接続に指定してる 資料になります。こちらにつきましては、やっぱこれ小さくして申請書のメンバ ー
0:43:33	でございますけれども、かなりデータ類を細かいも付けしてですね、パッケージ として確認精査させたというものでございます。
0:43:44	ちょっとコンタミですねというふうに拡充されたかを紹介いたしますと、
0:43:49	やっぱりコサクストップ大丈夫であるべきではおいしいページすいませんちょっ と通しページGまず 9 ページですが、共用アプリなところですね、こちらを拡充 させたと。
0:44:06	それが 17 ページですね。うち深部の話を作って追加、拡充させていただきます が、
0:44:14	それから、後ろのほうにですね 3 種類ですね、別添 1 から 3、1 でございます けれども、こちらはマルマル新しくですね開設したのを見つけましたという資料 構成になってます。

0:44:32	紹介は以上でございますか確認します。
0:44:46	どうぞ。すいません規制庁カミデですちょっと最初にここにですけどこれ対人建物 23 番は、
0:44:54	Revゼロで提出されていると思っていて、今、拡充したところを追記したとかって御説明をに聞こえたんですけどちょっとどういうことだったんでしょうか。
0:45:06	ありがとうございます。お金が落ちて申請した場合と比べて部局長しましたという説明をいたしました。
0:45:21	そう規制庁カミデです要は竜巻防護設備は者の申請書の耐震計算書で下回りの計算書が全くついてないとか、要はそういう状況。
0:45:34	であったので、その点について下回りの計算書とか追加されたものですかとそういうことをおっしゃってるんですか。
0:45:45	全部ハラダって盛んに取りかえると見てございますし、すいません。
0:45:53	規制庁カミデですとする方たちも最初に聞こうと思ってたんですけど、
0:45:59	この資料の本文に書いてあることとか、別紙 1 に書いてあることっていうのは申請書に載っているようなもので、
0:46:08	これは補足説明資料なんですよ。
0:46:14	こういう補足説明資料が計算書等計算書というか申請書と同じようなものは、補足説明資料の形で出てくるというのはちょっとよくわからなかったんですけど、これってどういう意図でつけた補足説明資料なのかで、
0:46:31	昼倍率等他の建物構築物系でもこういうような資料を今後だということを考えているのかそのあたり、考え方を教えてください。
0:47:09	ハラダでございます。お待たせしましたが、竜巻防護対策設備、Pのほうですね、今回の新設の設備部がありますんで、あれですね、かなり細かい兆候も含めております。
0:47:26	一度まとめてお出したほうがよいのかと考えられまして、これぼかした形でまずけれども、渡したという次第でございます。以上です。
0:47:42	規制庁カミデですそうすると今後も新規物こんな感じでという説明にも聞こえたんですけど、
0:47:50	私の理解ではちょっと申請した内容が余りにも加わったので、設計方針の説明をするにしても、どんな計算をしてるか示さないと特に下回りですね、お話ができないということで、
0:48:05	詳しい内容を現時点では補足説明資料として出しているんだけど、あとの図の補正、に取り込むところも多いので、そのあたりを最終的に整理すると。
0:48:20	ということかなと思ったんですが、そういう理解とは違いますか。



0:48:28	ありがとうございます。おっしゃる通りに行ってくださいまして、確かに認められない耐震設計にかなり端折ってる現在ちょっとやっぱしてしまったので、今回出しすることになりましたが、事故状況はあれですね。
0:48:45	ちょっと反省も踏まえてですね、このようにわかりやすい資料づくり申請したいと考えております。以上でございます。
0:48:55	規制庁カミデサガワの日上で、例えば2ページで別紙でこれこれ示しますと言っているものも本当に今回出ているものと同じものを出すのかっていうのはよう整理かと思いますのでその辺、
0:49:10	体裁的にあと申請計画的に整理した上で文書上はさらにこれは次回示すというものであれば何か点線で囲むとかって言ったように、ほかの周出されてますので、同じように対応するようにしてください。
0:49:31	承知いたしました。
0:49:36	規制庁カミデです。次に3ページ目ですけども。
0:49:42	概要の書き方についてはこれは建物構築物の一部だと思いますので、書き出しについては、建物構築物の方向の資料を参考としてやるようにしてください。具体的には、大体再処理。
0:50:02	施設とか、何とか施設の建物構築物のうち、建物竜巻防護設備の説明である と他の資料では
0:50:13	建物構築物のC、説明と五つ括弧書きで、これこれは除くと言っているのも、その象されたものなんだよというのが、冒頭でちゃんとわかるように記載してください。
0:50:31	それですと比べた上で適切に記載をします。
0:50:40	規制庁カミデです。あと、今後用語をみたいなどこなんですけど。
0:50:47	今回建物構築物のうちというふうになるとは思っているものの、
0:50:53	ネットマいいんですけど、防護版も建物構築物の退出体系に入れて説明されるんですかね、今回の設工認だと。
0:51:23	承知おきください。
0:52:00	す済みでございますけれどもます黒丸につきましてですね、例えば少年一旦止めるとかを回答してくると思うんですけども、建物構築物のために整理していきたいと考えております。以上です。
0:52:18	はい。規制庁カミデです。あんまりこだわるところではないんですけど、例えば推移とかでもう被水とか薬品対策でも防護板ってあって、それとそれも建物構築物ですか。
0:52:55	規制庁込みです整理されしていただければいいと思うんで、今ここで

0:53:06	整理は可能だと思うんですが工場が建物構築物こっからこっちを機器配管系でやりますという話もあるんですけど
0:53:15	要は、基本設計方針の話をもう大分後回しにした状態でかなり具体的な内容に入ってきていて、上流の整理がされないまま、どんどん説明がされると混乱をきたすと。
0:53:34	いう状況でさっきの1.2Ssも同じだと思っていて、基本設計方針から順々にやっていたら、いきなりこんなところで議論にはならなかったはずなんですけど
0:53:47	そういうことだと思ってですね、今基本設計方針のほうも大分準備が進んでいると思いますので、そういうところでも改めて整理を聞かせてもらえればと思いますと思うので、それに従ってこの補足説明資料を適正化していただくと。
0:54:05	ということでお願いします。
0:54:08	ハラダでございます。そうですね、整理もしっかりした上で説明を進めるべきところと率直なところがありますのでしっかり整理を進めていきたいと思います。以上です。
0:54:25	規制庁カミデです。ちょっと前方体制的なところは、これで最後の行ですが、3ページ目の2ポツの設計方針で、
0:54:36	波及影響の評価でありますよという話があるんですけど、
0:54:42	体制と体裁ということでもないですけど、もう前段として竜巻防護設備の耐震重要度Cクラスですといった上で、波及的影響の考慮が必要なんだというふうにもう少し詳しく書いてください。
0:55:00	8です。承知いたしました。
0:55:08	ちょっと規制庁かみてですね、その他、
0:55:14	前段のところを、お話があれば、規制庁の方からお願いします。
0:55:34	規制庁※率
0:55:36	そうするとちょっと中身的な部分で確認をしていきたいと思いますが、規制庁側から何かをお願いします。
0:55:46	規制庁のキシノです。ちょっと前段部分でいきますと5ページに許容限界の設定というのがあって、
0:55:53	上位文書である5-2-1-4-1に基づき、終局耐力表現開発するという説明なんですけれども、所前段の5ページまでっていうのは波及的影響を及ぼす施設事故以降の申請施設も含めた全体について共通した。
0:56:10	文書だと認識しているのですが、その中でですね波及的影響を見る上で、クライテリアとして終局耐力ですべて
0:56:20	説明できるのかなというところをちょっと確認したかったんです。

0:56:24	変位変形の程度によってはですね終局耐力に至らなくても上位クラス施設に接触したり衝突したりするような可能性もあるんじゃないのかなと思うんですが、全施設を見渡しても、そういったクライテリアを設定する必要、必要になる施設はないという理解でよろしいでしょうか。
0:56:54	ちょっとキシノでちょっと補足しますとまず施設を見ると、見落として終局と許容限界としてどのように整理をしているのかで終局耐力をすべて許容限界とするということであればその理由を教えていただければと思います。
0:57:14	ハバサキ所掌あの事故を確認いたします時間ください。
0:57:26	ちょっと確認していただいている間に次の別の質問に入らせていただきます。
0:57:42	規制庁のハバサキです。そうしましたらちょっと今調べられているということなんで、その間にあと内容について、幾つか確認したいことがありますので、
0:57:52	別紙 I a9 ページから資料になります。
0:57:58	この別紙 1 に関しては 11 ページの一番冒頭にですね添付の 4-2-1-4-2 において、この添付の補足説明という形の位置付けというふうに理解しています。
0:58:11	で、その前提ですけれども幾つかあるんですけど、例えば 17 ページ。
0:58:16	入力地震動の算定の地盤条件が表 5-1 にあるんですが、これ添付に書かれている地盤上地盤物性値等の関係について説明をしてください。
0:58:42	日本ライフラインカミタイラです。ハバサキさんの質問の意図としては、こちらは今表示されている第 1 表落ち葉モデルという点に示されている。地盤モデル、
0:58:56	この
0:58:58	違いというべきでしょうか。
0:59:01	規制庁ハバサキです。別添ではなくて、添付書類 4 の 2-1-4-2-1、飛来物防護ネットの計算書っていう新生児に出された計算書ですね。
0:59:15	そこにある地盤物性値との際です。それについてお尋ねしています。
0:59:23	やはりカミタイラです。指摘事項、所としましては、ちょっと確認しますお待ちください。
1:00:14	規制庁込みでサガワの調べてる間に 1 点だけ追記をお願いしたいところがあって、
1:00:22	16 ページに固定荷重として耐火被覆重量を含むというようなことはあるんですけど、どういうふうに含んでいるのか、
1:00:36	要は、単位面積当たりの重量、
1:00:41	であったりとか、相当層の範囲の考え方とかが今どうなってるかっていうところの示すようにしてください。

1:00:49	本来はあまり鉄骨の塗装についてやや確認するというものでもないと思うんですけど、外部火災対策のほうではその塗装範囲のについて今議論になったりですね。
1:01:05	しているところがあり、その中で耐震性の影響がみたいな話もあったと思いますので、その辺りクリアになるように、どういう形で見込んでいるのかということも補足説明の中、
1:01:21	補足説明でこの資料自体はゆくゆくはかなりの分量が補正に反映されると思うので、そういう観点でどこに記載すべきかというところはあると思うんですけど。
1:01:37	いずれにしてもその耐火被覆の授業の考え方っていうのは説明するようにしてください。
1:01:43	先ほどのハラダでございますと推察ですね、今度是对処いたし副というものは報告期日が重なってちょっと発生しましたので、どっちで守らせると評価しておりますよということでお示しするけども、やっぱり記載を追加したと。
1:02:02	ありがとうございます。当町カミデが認めるんだらうというところでございますけれども、タテウチ量でございますけれども、しっかりと体系、ちょっとここはいたしたいと思います。以上でございます。
1:02:27	はい。規制庁カミデです。よろしくお願いします。
1:02:30	で、他に調べているという、調べておきますと言ってたか1回とつてもいただけるでしょうか。
1:02:40	2番目のカミタイラです。先ほどハバサキさんからご質問いただきました津波レベルについて、回答いたします。今回の資料につけております。一番物性値については飛来物防護ネットの下部にある地盤モデルになります。
1:02:59	先ほど御指摘いただいた比較対象ですが、そちらがリキャップ等の経営下部の地盤モデルとなっていて一番開状態が含まれていない。地盤モデルということでサガワでございます。以上です。
1:03:21	規制庁ハバサキです。今の説明は理解しました。
1:03:25	その上であとその17ページの物性値ですけども、
1:03:31	52.3円から37年の間、これ改良銅の物性値で、
1:03:36	これを用いて一次元波動論で入力動を求めているんですけども、これ明らかに改良度が無限に広がっている仮定だというふうに理解してるんですけども、
1:03:51	それっていうのは適切なモデル化になってるんでしょうか。いかがでしょうか。

1:04:04	日本のカミタイラです。今御指摘をいただいた上に広がっているというふうに思 って点については工場の運転下げるも運営まであるんじゃないかという趣旨で ございましょうか。
1:04:18	規制庁恥ハバサキです。
1:04:21	今これ機防護ネットの基礎下ってというのは 52.3 面でよろしいですか。
1:04:28	日本原燃カミタイラそうおっしゃる通りです。掃気等改良を前Vsで 910 の数、 そうですね。TMSL37 年までの
1:04:41	この層がこれ改良等の物性値ですね別添 3 を見ますと、これを用いて一次元 波動論で入力を求めるということは適切でなぜ適切なのか説明をお願いします ます。
1:05:07	沼津全面カミタイラですとですね、まず、ちょっとページ後ろのほうになります が都市傾斜 71 ページを見ていただきますと、地盤改良範囲を平面と断面で 示してございます。
1:05:29	ご指摘の通り、典型的な範囲A地盤改良されておまして、それを広がりを持 った地盤とみなして一次元波動年齢評価してよいかということは、質問趣旨か と思います。
1:05:45	それに関しましては、都議会資料に記載はしておりませんが、
1:05:52	一丸Lm営業気配りを持ったアンカー一番伸びして入力を検証して一次元波 動論で評価することが妥当であろうということを確認しております。
1:06:04	以上です。
1:06:07	規制庁浜崎です。今の説明で理解しまして
1:06:11	センコーのこういった同様の検討っていうのは当然ご覧なってると思います。 基本的には二次元なりのこういう広がり改良の範囲を考慮したモデルで入 力動を求めているのが普通ですので、
1:06:27	今言われたように時限でも、それが妥当である或いは保守的やあるというエビ デンスを後から説明があるということですので、それを見て、またこちらの方と しては判断したいと思います。
1:06:42	二つ目も
1:06:46	すみません。
1:06:47	19 ページのほうに今回防護ネット等の地震応答解析モデルが出てますが、一 軸の質点系モデルということで出てますんで。
1:06:58	私の理解ですと、この防護ネットっていうのは鉄骨フレームの門型の加工であ って、この途中の 2 番から 4 番の試験位置には別にあのここにうかがわれる わけではなくてですね。

1:07:15	いわゆる号証過程としての失点系モデルとするというのが非常に奇異に感じられます。
1:07:21	今
1:07:24	こちらの防護ネットの耐震検討としては、この失点系の応答結果を 21 ページが出てくる三次元フレームモデルで 2a と入力する形で評価をしているということなんですけれども、
1:07:40	その 19 ページの質点系で果たしてこのフレームの構造の方法等が確実に確実にといえますか適切に事業として評価できる。
1:07:56	と判断した理由について説明をしてください。
1:08:16	日本原燃の佐藤でございます。本件についての人少々お待ちください、ちょっと先に御質問がありました点検のクライテリアについてちょっと回答させていただきませうけれども、どうも対処と竜巻防護みたいな説明くらい組合何社十分なり振動等による損傷はないと考えておりますので、
1:08:34	いわゆる支持部材において交通の終局耐力に原因と考えてございます。以上です。
1:08:45	規制庁のキシノです。
1:08:49	離隔を十分あるからという、御説明かなと理解しました。ちなみに。
1:08:54	冷却塔が守るべきものになって竜巻防護ネットがぶつかる可能性のあるものかと思うんですが、
1:09:05	その離隔の最小値っていうのはどの程度あるんですか。
1:09:12	はい。
1:09:17	はい。
1:09:18	ごうぎんの佐藤でございますけど調べますので少々お待ちいただけますか。
1:09:23	はい、規制庁の木です。わかりました。もう一つのちょっと重ねて質問したいんですけど、13 ページですね、に支持架構の説明があつて、ざくつと拘束ブレースというものについての記述があつてこれ十分変形能力を有するっていうことで、変形を前提とした部材かと思ひます。ある程度の
1:09:42	まとまった変形が出る部材かなと呼んでいて想像したんですが、高齢の変形を加味しても全く変形っていうのを送られているように考慮する必要がないと、そういう理解でいいのかっていうことも整定後程教えてください。
1:10:09	規制庁キシノです。すいません。今追加した質問の趣旨でありましたでしょうか。
1:10:17	サトウでございます。はい、承知しました少々お待ちください。

1:11:01	あおぎんの佐藤でございます。例えばネット等も昔の冷却塔めくりを調べておりますが、さっき雨森進委員検知の考え方ですけれども、事象が出てきてしまいますが、竜巻の処理機器荷重入部の神経頼り困ってくる場合もですので、
1:11:18	こちらに変形が支配的であることから、Ss地震の振動等による文献よりも、
1:11:24	資料のPでちゃんと示し方たちません。
1:11:34	もちろん仕事ですけれども、今ですね伊万里隔離調べてございますけれども、そもそもですね、この竜巻防護設備ねっていればソリューションがございますので、隻飛来物が飛んできたときにですね、ネットが絡んでも、プロジェクトに衝突したような離隔距離確保してございますので、そのメーターオーダーで理解。
1:11:54	メリットというものが完成してございますので、地震等によって開けるという恐れはございません。以上です。
1:12:07	規制庁の基準です。今の御回答っていうのは先ほど質問を追加した座屈拘束ブレースの変形を加味してもそういうことだという理解でよろしいですか。
1:12:18	三菱の対応ですけど、文書等ございます。
1:12:23	そのキシノです。はい、わかりました。えっとですね、5 ページ許容限界の設定のところでの終局耐力を許容限界とすると、これはここで書くべきなのかっていう的影響で書くべきなのかってのはちょっとあれかも整理が必要なのかもしれませんんですけど、教育委員会として終局耐力に限定されるつまり変形の観点では十分な離隔があって、
1:12:42	必要ないんですよっていうことは先ほどちょっと最初にくる幾つっていう質問をさせていただきましたがけれども、ある程度具体的な数値に基づいてですね、その変形量をクライテリアとする必要がないという説明をですね、この資料もしくは別の資料かどこかでの説明を超えるよう検討していただけますでしょうか。
1:13:05	サトウでございます。承知しました資料について説明いたします。
1:13:11	土地すちなみにどの資料に追記されますか、今の時点ではまだ決められないですか。
1:13:18	今決めなくてもいいんですけど、見通しは立たないためにサトウでございます。今おっしゃったのは従来のほうの基本活動の基本方針のほか、この補足説明資料のバックアップという意味で回答しますけれども、ちょっと関係者の方にも左に出席しないのでちょっと持ち帰って相談させて、
1:13:38	ちょっと回答したいと思います。以上です。
1:13:41	規制庁給水わかりました。また次回関連するヒアリングのときにですね、その見通しを説明していただければと思います。以上です。
1:13:52	本当にサトウでございます承知しました。

1:13:58	規制庁ハバサキです今津アップツー拘束ブレースの話になりましたのでちょっとそれに関して幾つか確認したいと思います。
1:14:06	ページですと14ページ最初のほうのですね、
1:14:12	各評価対象部位が出てますけれども、座屈拘束ブレースは評価対象外になってるんですが、基本的にアップツー拘束ブレースっていうのは、構造部材と考え、
1:14:25	るならば、評価対象になるのかなというふうに考えられるんですけども、
1:14:29	想定いかがでしょうか。
1:14:54	はい。
1:14:55	ちょっと厳しい言い方上げといいますと、あるぐらいですね
1:15:00	この部会として考えてございますけれどもいわゆるその高校で設計基準上のクライテリアというところに、そこがわかんないのかなというふうな思いでちょっと退職代としては外してございますけれども、ここの座屈口頭ベースがですね、
1:15:17	いうこの範囲内で採用していることはですねそのひずみでやっぱりとかで確認してございます。以上です。
1:15:27	規制庁ハバサキです。これ評価対象にするかしないかって結構大きな問題になるんでちょっとよく検討してもらったと思います。普通考えればこれは評価対象になるというふうに考えますのでちょっと検討してください。
1:15:46	よろしいですか。検査等でございます。はい、承知しました。
1:15:50	規制庁ハバサキです。ちなみにですね29ページにこれ全体評定の評定書が出てますけれども、
1:15:59	このブレスを使って当原子力施設の審査実績というものはあるんでしょうか。
1:16:08	いかがでしょうか。
1:16:24	当然策でございます。選挙に調査審議審査意識はちょっと調査していくと、回答させていただきます。以上です。
1:16:33	規制庁川崎です。装填も審査常時重要になりますので回答のほうをお願いします。
1:16:41	あとですねちょっと27ページちょっと戻っていただくとダンパーのモデル図が書いてあるんですけども、いわゆるこれ精神ダンパーとして今回使うという説明があるんですが今まで原子力施設でもですね
1:16:57	建物構築物でも、こういうダンパーを使っている先例は幾つかあるんですけども、



1:17:03	それはダンパ型式にもよるんですけども、その性能のばらつきを考慮すると、それで応答に対するばらつきの影響を見るっていうことをやっているプラントもあります。それはご存知だと思いますが、
1:17:19	本件に関しては、ダンパに関するばらつきについてはどのように考えているのでしょうか。
1:17:34	日本原燃佐藤でございます。少々お待ちください。
1:18:19	ゲンポウサトウでございます。登録して参りましたモリノプレスの専門の松木でございますけれども、こちらに全く影響してるわけではございませんが、例えば企業として不足のところがございますのでちょっと調査の現場こちら別途回答させていただきたいと思っております。以上です。
1:18:36	規制庁ハバサキです。記載のばらつきに対する考え方といいますか、内容についてのか、記載のほう、そしたらお願いします。
1:18:49	ちなみに今回、口側ダンパーということで使われている部材っていうのは、今 15 ページに支持架構の部舞台が出てますけどここには含まれないのでしょうか。
1:19:04	具体的にどう、どういったメンバー使われてるっていうのが、教えてもらいたいですけども。
1:19:14	三菱答えと言いますけれども、今 15 ページのほうに記載している部材については答案MAAPコード定数は含まれてございません。結果をまた別途ちょっと緒元につきましてはまた整理したいと思っております。
1:19:29	来てたわけですが、今この資料上はちょっと記載がないという理解でよろしいですか。
1:19:49	三菱ことあるんですけども、今 15 ページの競合さかい 3-2 表ですね、こちらにちょっと記載をしてございません。以上です。
1:19:57	規制庁ハバサキです時 15 ページ以外にも記載はないという理解しております。
1:20:04	三菱を高いレベルのこの資料の通りで今の吉郎場にはちょっと記載がございません。以上です。
1:20:11	規制庁ハバサキです。説明は理解しました先ほど 14 ページで話しましたように評価対象部位
1:20:18	とそれからしないかにも関わりますけれども、やっぱりずっと評価対象以外 1 者もですね、メンバーについては記載のほうで説明をしてもらいたいというふうに思います。
1:20:31	あとそのときに中に充填するモルタルの仕様とかですね、そういったものについてももう少し詳細な説明をしてもらいたいというふうに思います。
1:20:41	それは可能でしょうか。

1:20:47	原電の佐藤でございますが、可能ですので、非常に期待するよういたします。以上です。
1:20:53	規制庁ハバサキです。
1:20:57	今のダンパーの土地質問の前に質問した項目についての回答ってというのはいかがでございましょうか。
1:21:05	日本原燃カミタイラです。先ほど松本が言った失点系モデルでこの三次元の三次元といいますか、鉄骨学校や評価することが妥当かという質問に対しての回答いたします。
1:21:21	当日はこのやり方というものが圧力が採用している手法でありまして量としては、冷却塔を耐震評価、こちらにおきましても、鉄骨が失点との置き換えて耐震評価をします。
1:21:38	その返答を三次元のモデルに入力していくという評価をしているものは落としているものでございます。
1:21:47	ご指摘ありましたように、三次元的な強度を見たときにねじれが生じるだとかそういうことが懸念されますが、
1:21:56	そう遠くの質点系で本震だけが伸びてるかということが懸念されます。まず耕地解析を3時間目の統合の日関係のもので実施した実施して比較をさせていただきます。
1:22:12	こっちが位置するということを確認してこういう地上二階がないということを確認しております。
1:22:21	それと、2巡目とアメリカということに関しては、
1:22:28	加振方向に対しての経路抵抗する耐震要素さ。
1:22:35	本来、耐震壁で考えたときは面内に当たるような
1:22:39	中心というものを正面になると今年の耐震要素のオーバーストアペイ左右AIDとなっていて、大勝しメキになっているところから、理事が生じないというふうを考えておりました支店系での評価と
1:22:56	ものは十分妥当であろうというふうを考えております。以上です。
1:23:02	規制庁ハバサキです。口頭での説明については理解しましたが、先ほどの入力と同じように三次元のモデルで振ってちゃんと確認してますっていうことはされてないですか。
1:23:21	&カミタイラです。3時間までは高知確認をしております、
1:23:27	三次元の時刻歴じゃない現象というのはしてございません。
1:23:33	規制庁ハバサキです。今現状の状況については理解しました。

1:23:39	その前提でなんですけども、ちょっと次の話になりますけど、22 ページにフレームのモード図が出てて、鉛直地震荷重っていう文書もその上にあるんですけども。
1:23:52	具体的に鉛直地震荷重は、このフレームモデルにどのように最下荷重をかけているんでしょうか、説明をお願いします。
1:24:15	いうふうにもサトウでございます。1 億円報告でございますけども、加速度を静的に鉛直震度として付与してございます。以上です。
1:24:25	規制庁ハバサキです。その加速度っていうのは、失点系の一番上の加速度という意味でしょうか。
1:24:58	電力サトウでございます。支店経営レベルではなくてですね三次元モデルの固有値解析結果から、トラスの状況が卓越するものを選定しまして、それを次のページにある 18 ページですかね、スプレッドした 23 ページにある。
1:25:14	印可オートスペクトルに重ね合わせて確保といった加速度を静的に家族の静的震度として入力してございます。
1:25:23	以上です。
1:25:24	規制庁ハバサキです。右のページ、6-4 の図も、このスペクトルは、どういうスペクトルですか。
1:25:34	説明してください。
1:25:44	人間のサトウでございますが、こちらの加速度応答スペクトルでございますけれどもとび 6 地震力気相への NEC と加速度応答スペクトルになります。
1:25:53	以上です。
1:25:58	規制庁ハバサキです。
1:26:02	ちょっと理解できなかったんですけども、このスペクトルっていうのは、例えばモデルで言うと 55.3m の基礎になるんですかねちょっとわかんないですけど。
1:26:13	この位置の応答スペクトルの
1:26:17	をもって規定で屋根トラスの上下の固有値の 1G の与えスペクトルの縦軸の与え、
1:26:26	震度換算して入力している、そういう理解でよろしいですか。
1:26:33	日本原燃の佐藤でございますが、今御説明いただいた内容ではございません。以上です。
1:26:39	規制庁ハバサキです。
1:26:41	上下方向に鉛直動に関しても、は増幅がないっていう話ですから今の説明は、

1:27:06	納期のところでございます。19 時ですけれどもその全国考慮してですね、第 6ーベンゼンぐらいあるのスポーツ文化を加速の音スペクトルにもマージンをとっている始めると設定してございます。以上です。
1:27:20	規制庁ハバサキです。その周りはなぜ妥当なんですか、その増幅ってどう考えられたんでしょうか。
1:27:33	規制庁ハバサキですよ私じゅ、23 ページのスペクトルは 19 ページの質点系モデルの①の
1:27:42	上下応答のスペクトルというふうに思ってたんですけど。
1:27:45	そうではないってということですか。
1:27:55	日本原燃カミタイラです。ハバサキさんの認識の通り、質点系の
1:28:02	三つの視点の多くはございません。
1:28:08	規制庁ハバサキです。
1:28:10	現状のやられてることは、
1:28:15	わかりましたというか、
1:28:17	そういうものだという事は、
1:28:20	聞きました。それで、そしたら今 0.8Gっていうのが 23 ページのところに書かれてます。震度換算でですね、これを、屋根トラスにどういう形で入力をされてるんでしょうか。
1:28:43	ごうぎんの佐藤でございます。別の文献ですけれども、屋根トラスだけではなくて、交互運転し転動に加速度飲料としてございます。以上です。
1:28:53	規制庁ハバサキです。
1:28:55	べし気柱だとかですねそういったところを鉛直振動を抑制すると思うんですけども、ちょっと今屋根トラスに限定して言えば、この 0.8 時なりの振動をですね振動としてですね。
1:29:11	屋根部分について、各種設定点に振動換算ということで、一律に入力をしてるんでしょうか。
1:29:26	コンビニエンスストアでございます。おっしゃる通りです。
1:29:29	規制庁ハバサキです。
1:29:31	そうすると先ほどカミタイラさん言われた、今 12 ページあ 22 ページにあるような一次のものでですね、冒頭としては当然加速度は中央部が大きくなるっていう、そういう効果っていうのは、
1:29:47	今の言われた入力方法では入ってこないというふうに思うんですけども、その点いかがでしょうか。
1:30:05	その通りでございます。少々お待ちください。

1:30:50	日本原電の佐藤でございます。ただいまのご質問ですけれども繰り返しにちょっととなりますけれども、
1:30:56	1032 ページのこれに近い席からアメリカの振動の加速度応答スペクトルの進度から迷った加速度を設定してございますので、特に問題ないと考えてございます。以上です。
1:31:08	規制庁ハバサキです。
1:31:11	スペクトルから撮った一律の対応。
1:31:14	全然やる部分について、全設計に対して同じ値を
1:31:19	入力しているという理解でいいんですよね。
1:31:24	人間サトウでございます。おっしゃる通りです。
1:31:27	このモデルを
1:31:30	常陽とさせると、当然中央部の応答加速度っていうのが大きくなる現象が今言われた入力方法では再現できないと思うんですけどもいかがでしょうか。
1:32:26	原電の佐藤でございます。ただいまご質問いただいた件ですけれども、ちょっと別途検証を行って説明をさせていただきたいと思いますので、人緊張が非常に追記するよういたします。以上です。
1:32:40	規制庁ハバサキです。
1:32:42	先ほどカミタイラさんからも御回答あったんですけども、三次元のモデルの挙動をやはり適切に反映した応答結果出ないとなかなかこちらとしては、
1:32:56	ちょっと理解ができないんですねちょっとその点を考えていただいて説明される説明性のある回答のほうをお待ちしています。
1:33:08	先ほど一律の鉛直の振動掛けるっていうのは例えば基礎スラブなんかはそういうことをやるっていうのはよくあるんですけども、これだけ面外挙動が大きなものに対して同じことをやられるっていうのはちょっと理解できませんので、説明のほうをお待ちしますということで、
1:33:26	とりあえず、この別紙 1 については私のほうからは以上になります。
1:33:37	規制庁カミデです。別紙 1 ですかね、1. 31 ページなんですけど。
1:33:44	先ほども話をしていた座屈拘束ブレースで、
1:33:49	ここの説明だとSsとかSDだと塑性化して、
1:33:56	っていうことなんですけど、これ塑性化した後は、どういう協働というかという状態なんですかね塑性化したままなのか、元に戻るのかというところを説明をお願いします。
1:34:21	について事故対応ですけれども、アドレスがこちらの部材ですね、西縁範囲内以上の荷重が作用しますと塑性化、それに向けいたしますので、

1:34:33	地震の後でも組成のへっ急にきたわんでございますですね、この座屈コサクベースの実験の中でですね、
1:34:44	高いけど、
1:34:46	荷重を繰り返し荷重の再調査でも広い話なども確認してございますので、当課のSDの金利をやれば問題ないというふうに考えてございます。以上です。
1:35:00	規制庁込みですとSDの範囲内で終わればということなんですけど、ちなみに100回に対して幾らぐらいだと思っているから大丈夫と思われてるんでしょうか。
1:35:28	三菱分配する場も移動こちらですね、実験の中でですね層間変形角で100分の1の所層間変形角を与えるような地震動100回繰り返しても、役会を買っても、
1:35:44	疲労破壊しないというコメントでございますので、それに対して、それと今回のSs地震動でですねこの100分の1の層間変形角以下であることを確認してございます。以上です。
1:35:57	どうぞ、規制庁込みですすいませんよくわからなかったんですけどあの1回内製する地震に対して、塑性変形って1回しか起こらないってということなんでしたっけ。
1:36:18	要は等価繰り返し回数的な考え方でこうおっしゃっているのかなと思ったんですけど、ちょっとその辺の考えた考え方がちょっとよくわからないんですか。
1:36:30	三菱お互い制度もSsじゃあ今この地震動の発生時にえと何歳潰せ範囲内で等と連携しているかについてはちょっと確認させてください。ちょっと確認いたしますと、まだ閉じないと回答ということとさせていただきますと思います。
1:36:48	規制庁カミデです。それぐらいはやって欲しかったんですけど、自信がないのであればちゃんと見ておかないと
1:36:58	要は、途中で壊れてしまっはしょうがないので。まずそこは担保をとるようにしてください。その上で塑性変形が残るってということだと、やっぱり沖地震を経験した後は速やかに交換するってということだと思います。
1:37:15	別途あの竜巻側の竜巻という効果がこれも外部火災ですかね、ネットには耐火被覆をつけないと、それは何故かっていうと、町税まず現象が重畳しますよと竜巻当部会を重ねて重畳しない。
1:37:33	エネットについては何かあればすぐ交換対応するという話で何かそれを運用とかですね、いうところで予備品の担保と困るかもしれないですけど、担保するようにという話を話しているやに私は理解してますんで。

1:37:52	それと同じようなことですので、この売っダンパーの取りかえとかの運用ですとか、そういう考え方も整理して外部事象のところで言っているネットの交換とかですね。
1:38:10	そういう所テンションのあった説明の申請書の記載程度というところを考慮しておいてください。
1:38:18	はい、ありがとうございます。おしゃることを理解いたしました単独ですね塑性化しても、
1:38:28	繰り返し使えるという説明はしたんですけれども、やはり確かにおっしゃられる通りですね大きな地震がプレートになるんだというところで、雨とか説明が難しいかと思います。またそのままに転倒いたしますけれども、やはり
1:38:46	それから必要な場合はですね、地震超過確率中の償還期間を踏まえまして、それぞれ適切に交換していく部分が記載をされてですね、ちょっとこちらに記載。
1:39:06	したいと思います。よろしく願いいたします。
1:39:10	規制庁カミデです。ちょっと気になるところが2点ほどっていうまず最初、繰り返し使えると判断しているといったのでそう判断しているのであれば、先ほどのような当庫繰り返し回数的な話をして、
1:39:26	まず大丈夫だしその後も大丈夫なんだということなんだと思いますけど、31ページの記載から襲う読み取れないので多分、
1:39:36	繰越使えるっていう結論にはなってないと思います。そこは確認をしておいてください
1:39:44	もう一つ、ちょっと早口で聞き取れなかったんですけど、超過確率っていうはどこが出てきたと思いますけど私の求めの中には超過確率という話は全くなくてですね。
1:40:00	5日の地震単独事象として考えてもらえばいいだけなので、
1:40:07	そのSクラスもISDクラスのまま地震を経験したときに、と速やかに交換できるということを持たせてもらえばよくては設予備品持っておくとか、そのセット数の考え方とかが、
1:40:23	外部事象での考え方等をテンションが合うようにということなので、わざわざ何かの事象と超過確率をまた検討しなきゃいけないようなものではないので、装填勘違いしないようにお願いします。
1:40:39	ありがとうございます。すいません、ちょっとベースに過ぎました地震が起こったときに、公開をするわけですけども、それがまた別にどめの地震が起きる確率と比べて、

1:40:58	巡目短時間で交換ができますよといったことで記載してくると、それがやっぱりくださいの基線つつ、
1:41:07	このままのチームの
1:41:09	ちょっと別に説明したんですけれども、すみません、申しわけございませんでした。
1:41:17	規制庁子店のわかりましたよろしくお願いします。
1:41:30	規制庁の武田です。
1:41:32	イトウ別紙のところ、別紙1で1点だけ確認させてもらいたいんですけど、18ページ。
1:41:39	なんですけれど。
1:41:42	ここの
1:41:44	水平海水応答解析のところですね、健康の地盤に支持されており地盤と比べて失礼や剛性が小さく、地盤との相互作用の影響が小さいため基礎固定とするというふうに定義がされているんですけど。
1:41:59	基礎固定とすることが妥当であることというのはなかなか定量的に説明ができるんでしょうか。例えばバネを実際に定義した場合の固有値等々であるとか、そういったことを示すことはできるでしょうか。
1:42:42	そういったものいたしました現場サトウでございます。一般論として建物の1番目の人数のほうが大きくとれるので、規制庁から直接入力の話をしていきたいと考えてございますが、こちらの検証の結果については別途補足資料の3に追記してお示したいと思っております。以上です。
1:43:02	規制庁タケダです。わかりましたらお願いいたします。
1:43:05	別紙について私からは以上になります。
1:43:17	すみませんモリノオフィスのふもと以降厚生費んところでもう1回の質点モデルのこのことについて教えていただきたいんですけど、実際の経営とこの防護ネットのトランスの構造とかのやつで次のページの
1:43:34	FEPとFEMの何かそのモデルにあるようにやっぱり何かその圧力比が違うやつ違う建物バックをもって、
1:43:42	そういうものっていうかそういう構造になっていく上で何かそのトラスの入り方もすごい複雑なんですけど、この質点モデルっていうのは何かやっぱりこの、このモデルで急いでやっちゃうの水平方向の荷重なしでも大丈夫だっていうそういう話だと思うんですけど。
1:43:58	それがナカガワの方向とか関係なくなってこれ1個で地震の方向のNSEWとあるのに何でこれで大丈夫なんだろうっていう理由がよくわかんなかったんで、説明を伺いたいんですか。



1:44:21	すみません、儘田でございますけれども、するわけですね、多分聞き取り結果た文書等ございますように、一度質疑を繰り返していますでしょうか。
1:44:35	はい。この 19 ページのこの失点ずしてモデルのと解析モデルの図があるんですけど、実際のあの防護ネットっていうこの 1211 ページ 2-FEMのこの図に見えるような
1:44:54	形でやっぱり査定を公費が違うなんかもう、
1:44:59	ですかねそのどちらの面で見たらその採用方向とかっていうのは閉め鳥なんでしょうけど全体で見たらやっぱり今日事故とか弱軸とか、ちゃんとあるような構造物で、それでこのトラスも、それもとかっていうのも結構複雑に入ってるんでどっちが強いのが弱いのかというのも、
1:45:17	推薦応募に関しても、パツぱつと見ではないかわからないような構造物だと思うんですけど。
1:45:24	それでもう地震応答解析モデルのステイ地点のこの 1 モデルですね、この一つのモデルで中身を全部代表してそれで水平方向のやっぱ解析ができるんだっていう理由は、いまいちよくわからなかったんですけどその考え方をもう 1 回、
1:45:43	伺いたい人リスティングと思う。
1:45:49	三菱重工カード入れちゃったんですけども、まずですね算定倒産地盤のモデル化ですね、行う。
1:45:56	ちょっと防護ネットの指示が今後ですねこの音声を推進をこうですね、NS方向とEW方向と個別にゴーサインを出してですねそれをもって構成が共管になるように、1. 下のモデル化してございますので、そういう面では全体の
1:46:12	勤労につきましては、これからの出来上がっているというふうに考えてございます。以上です。
1:46:27	すいません。規制庁モリノです。
1:46:34	さっき行動の話がちょっとよくわからない。
1:46:40	いえ。
1:46:41	前に聞けばいい。
1:46:46	規制庁ハバサキです。先ほどは私のほうから質問したことに対してとカミタイラさんの方から固有値解析こういうモード等、あと 2 事例等ですね、見て、今回の
1:47:03	一軸のモデルは適切だという説明があったかと思しますので、とその説明っていうのは、次回以降、説明いただくということよろしいですか。

1:47:20	2 番目のカミタイラです。タマザキさん、今お話いただいたように、次回以降検証について説明をします。それとあわせてい質点系モデル及びNS方向、EW方向、それぞれ構成を拾い集めて
1:47:39	等価のモデルができているということを説明できると考えております。
1:47:45	規制庁ハバサキです。指定モデル後三次元のフレームモデルも含めてたんですけれども、やはりモデルのなんていうんですか諸元をどう決めたのかっていう、そのプロセスについてはですねちょっとしっかりと
1:48:03	説明をしてもらいたいというふうに思いますので、よろしくお願いします。
1:48:11	こちらでございます。承知しましたモデルの職員等について説明を追加するようにいたします。以上です。
1:48:26	すいません等、もう一つ質問なんですけど、さっきのフェリーともうそのを解析の何かその入力のやり方で、水平を鉛直東電もやってるのが違うのかがついてと思ったんですけども。
1:48:44	12 ページのこのフローの関係だと入力地震動からこの分岐して二つがこんな上の矢印が結局水平方向等、鉛直方向で入ってるんですけれども、
1:48:59	これはどういう関係になるんですが、先ほども話がちょっと理解ができなかったんですけど。
1:49:08	発電所ば厳しい状態ですけれども、今ですねご出席いただいた第 2-2 図になりますけれども、マナーとかですね入力地震動という四角からですね、突然方向の今御説明当たり 1. 系の地震応答解析のモデルに対して地震動入力して、
1:49:27	各支店の当地震荷重の組み合わせ整合性を通院戦略を出してございます。一方鉛直ボンベ別はね、右、右のほうに所 1 解析の 3 年フレーム遣ってございますけれども、こちらで出した保留地に基づいてですね。
1:49:43	入力地震動のFRSから当鉛直方向の応答加速度を算出して当ビルの方にもとして入力してございますということの水平方向と鉛直方向で入力する形だとは違うということを御説明を実施してございます。以上です。
1:50:01	規制庁モリノです。今のお話だということはわかりました。ありがとうございます。
1:50:11	規制庁タケダですその他、確認事項ございますでしょうか。
1:50:38	ハバサキです。すいません。そしたら別添 1 のほうでちょっといく幾つかどうか確認したいことがあるんですけども、45 ページにこれマスキングですけど解析モデルというのが出てますが、
1:50:54	具体的に今回の応力解析を行う上の境界条件それカラーを再開条件が過剰どのように加えたのかについて説明してください。

1:51:17	日本原燃のカミタイラです。まず解析モデルですが、マスキングされておりますが、文書に記載がある通りで所要素でモデル化をしてFMのモデルになっております。こちらに対して、
1:51:33	頂部のa鉄骨中から採用するかせえへ上部から入力されてきます。それと、やはり国の国等から採用する。岩種かキシノ津波に採用します。
1:51:49	あわせて基礎スラブ自体に作用する地震力、この三つを
1:51:57	解析モデルに過剰として最下をさせて評価応力を出しているということになります。
1:52:06	本。
1:52:08	規制庁ハバサキですこういう解析ものについては再開条件についての説明資料というのが別にありますのですねですといたしますかちゃんとありますので、その準備をしてください。それとあと、境界条件についてなんですけれども、
1:52:23	今PTA特イトウの位置で白丸顎白丸っていうか区イトウの一井のところ
1:52:36	鉛直支持してるのかな。
1:52:38	それ以外は競争拘束条件っていうか境界条件としてはないというモデルなんでしょう。いかがでしょうか。
1:52:48	日本原電力カミタイラです。おっしゃる通り、指示してるとこ 100 イトウのみということになります。
1:52:58	規制庁ハバサキです。先ほど荷重条件、荷重の入力方法という形で説明をしてくださいという話をしましたが、同様に、許可条件についてもですね、説明を指定した資料のほうを用意をお願いしたいと思います。
1:53:14	それは可能。
1:53:19	はい、日本のカミタイラです。経営モデルの説明とさせて境界条件荷重をの入力について説明を拡充いたします。
1:53:31	規制庁ハバサキですね。
1:53:33	とりあえず私のほうでございます。
1:54:01	宮中のキシノです。60 ページにですね。
1:54:06	左側ですね、60 ページの下のほうに知恵っていう希望があって埋戻の高さで地盤改良滞納外の液状化対象層って埋戻どうだよっていう説明になるかなと思うんですが、
1:54:21	ちょっと別の資料になって恐縮なんですけどあの建物を 08 の方
1:54:27	地盤モデルの説明の中で、この冷却水冷却塔の周辺の地盤状況の説明としては出訴国保確か 6 ヶ所そうだったかなと思うんですが、一応この計算上の条件として埋戻同層
1:54:42	多く速報地盤としてええと考えるのが正しいという理解でよろしいでしょうか。

1:54:50	日本原燃カミタイラです。所ていただいた通りでして、
1:54:58	指導と液状化対象層というものはモリノしようということで元指導
1:55:05	を対象に評価をするという考えになっております。
1:55:10	キシノですわかりました。今がその地盤モデルご担当の方はいらっしやらない かもしれませんがけれども、両方で正確性をとっちゃうといけないのかもしれない んですが、ちょっと違いがあるというか、多分表現上の違いなのかもしれませんが そんながそういった中で、理由ってというのはどうということなんですかね。
1:55:31	例えばこの資料では地盤改良体のすぐ脇に埋戻しとあって、その外側には 邪魔として6ヶ所層が広がってるんだけど検討としては割戻指導をのみを考 慮したとかそういったことになるのかちょっともし
1:55:48	その違いの理由が説明できるのであれば教えていただけますか。
1:55:54	日本原燃カミタイラです。
1:55:57	ご指摘といいますか、今おっしゃっていただいたように、近くに間違いの方に地 層があるかもしれませんか。こちらは液状化の影響評価ということで、
1:56:13	より保守的な評価は全体の評価となるように側面がすべてaで液状化対象層 ということで評価を実施するというので、評価の観点にやって扱い方が変わ っているということになります。
1:56:30	一応キシノです。保守的っていうのはつまり、速報の地盤が岩盤よりも上の 表層地盤はすべてもう均一に液状化するっていう前提でこの中では、この補 足説明資料では考えてるっていうそういう理解でいいでしょうか。
1:56:48	作業画面カミタイラです。おっしゃる通りでございます。
1:56:52	わかりました。
1:56:54	あとすみませんちょっと61ページにですね動水圧をこんなふうにかかっているん だよってポンチ絵があるんですけど、これは単なる昆虫の問題かもしれませんが が、この地盤では地下水っていうのは地表面に設定しており、動水圧っていう のはその上端は地表面からかかっているというそういう理解でよろしいでしょ うか。
1:57:14	日本原燃カミタイラです。その通りでございます。
1:57:18	わかりました。
1:57:20	とりあえずその2点の確認で、以上です。
1:57:29	規制庁カミデです。
1:57:33	別添1については、昨日蓄水ですかねた耐震建物の13の話の資料の話でも 伝えた通りなんですけど。
1:57:45	まずは上流の設計方針設計体系がまだ整理されてない中で、資料だけ見ても 中身がよくわからないというのが正直な感想ですので、

1:57:58	一応会合でも話をされると思いますけど、その液状化によってどういう影響はあるのかっていう影響モードに対して、今回これは会議員簡易評価と位置付けというものなの。
1:58:12	だと思いますけど、どういう評価をするのかっていうの上流側で整理した結果をちゃんと計算書等対応するように、こういう計算書を作っていただきたいというのがまず1点目です。よろしいですか。
1:58:29	日本原燃カミタイラです。で承知しました。
1:58:34	あとその上でですね、この種の説明の洋酒はええと改良地盤と杭の関係で耐震性があるのかどうかというところだと思いますんで。
1:58:49	基本的には改良地盤等、あと期待してるのマンメイドロックにも期待してるんですかねモードによっては、それらは、その杭の杭に対してどういう機器機能というか役割を果たしているのか。
1:59:06	というところをまず最初に、前段で整理をしてですね、例えば横ずれもあるし、引き抜きもRCもしかすると浮き上がりみたいな話もあるかもしれないですけど、その辺は上手く行か関係の基準。
1:59:22	なり規格みたいな魅力はどういう影響モードがクリニックに対して考えられるかっていうのは整理されてると思いますので、そういった文献を持ってきてですね、その各影響モードに対して、
1:59:37	改良地盤なりマンメイドロックがどういう機能を持っているかというところをまず最初に整理するようにしてください。
1:59:46	今画面カミタイラです。コメントを承知しました意見補足をさせていただきます。等の検討についても込み作業する力、新規と
2:00:01	主盤なんか押し込み圧縮ですね、引き抜きと圧縮という箇所、それと水平方向の風というものがかかって
2:00:11	中略モリノぱかぱるということになります。その点については、こちらの説明資料の前段部分は繰り下げ評価というところで展開をしていって、あそこに体制を指示をして、国の指示している改良体は健全であるかと。
2:00:29	ということで全体の構成を御考えておりました。ちょっと言葉不足しているところのちょっととといいますか。その辺りの説明が継続しておりましたのでそこはしっかりと説明をさせていただきます。
2:00:44	以上です。
2:00:46	はい。規制庁カミデです実際44ページちょっと基礎指針とかっていうのも呼び込んであるので見てはいるんだと思いますけど。

2:00:56	ちょっと体系的にどういう影響モードがあつて、どういう役割を持っていてというところでそれに対して、だからこういう計算式を適用してこういう結果だから、引抜きに抵抗できることを確認したと。
2:01:12	いう形で計算結果の標高も記載していただきたいので、流れをですね全体的に見やすくなるように、以下の体系で雑用に見直していただければと思います。
2:01:28	4年カミタイラです。承知しました。
2:01:32	規制庁カミデさ、あと、
2:01:34	ちょっとざくつとした話になってしまうかもしれないんですけど、例えば、
2:01:42	61ページ。
2:01:45	2の下にあるような本二次元の絵が書いてありますけど。
2:01:51	もう少し各評価に対してどういう考えでモデルモデルの概念図みたいのもう少し書いていただければと思いますので、
2:02:04	おそらく二次元断面みたいなものを評価してるのかと思いますけど。
2:02:09	どうであればですね長手方向よりも、短かった方向で評価すればいいでしょうという話なんですけどこれは、そういうような構造物やって閉鎖型断面で、
2:02:24	あるので、本当にそういう二次元だけでいいのかな、もうもしくはその直交切れば、
2:02:32	いいのかというものでもなくて、Mw各部に対して暴力を集中するんじゃないかとか、そういうことも気になる場所なので、どういう考えでモデル化しているのかということが概念的に我々とイメージが持てるように説明を
2:02:50	追加説明なり図なりを追加いただければと思いますけどいかがでしょうか。
2:02:58	はい、カミタイラです。ご指摘のため承知しました。
2:03:04	安全評価結果としては、もともと指摘んなるA評価A断面を仮定して実施しておりますのでそちらはわかるような所則増追加いたします。
2:03:19	はい、規制庁子店よろしく申し上げます私の方から以上です。
2:03:28	規制庁の武田です。ちょっと何点か教えていただきたいんですけど。
2:03:34	ちょっと先ほどから出ている指摘ともちょっと絡むところがあるんですけど、まず45ページ。
2:03:42	時さんのFEMモデルについての記載があるんですけど、ここでは承知コンクリ動向Eー境界条件がピン支持となっているんですけど、これは区域等の固定度は見込んでいないという理解でよろしいのでしょうか。
2:04:07	日本原燃のカミタイラです。点支持とすることで、固定で見込んでございません。

2:04:17	規制庁の武田です。残りました正当では区イトウの固定の見えていないということなんであればそれがそのディテールが成立するのかというところをちょっと説明していただきたいと思います。
2:04:31	はい。ていうのと、
2:04:33	48 ページですね、杭の評価方法というのがあります、
2:04:40	ここでこういった曲げモーメントをうまく下式により評価するということを書いているんですけど、ここを見ると、区イトウの曲げモーメント等が生じるもの等定義されていてそれを
2:04:54	だめ照査を行っているということかと理解するんですけど。
2:05:00	この行為の評価でもちょっと考えている定義等、既存の評価で考えている
2:05:08	実際こうイトウ品だという考えをちょっと相互があるんじゃないかと思うんですけども、いかがでしょうか。
2:05:15	日本国民のカミタイラです。
2:05:17	まず気相部についてはく等からの入力の評価するためにモデル化をしております、先ほどのPCという許可条件になっております。一方で、現在場面町にも表。
2:05:35	ちいされておりますが、これの評価に関しては、く評価上の隣接の評価となるように、こちらの右上の模式図になるような評価を行っているということで、キシノを招待しているのか、国の強化をしているのか。
2:05:53	ということで考えていることが異なっております。
2:05:58	以上です。
2:06:04	規制庁の武田です。基礎の評価を行っても出てきた水平力を用いて、こういった曲げモーメント評価するとそういったところは理解したんですけど、エクイティ等に実際曲げモーメントが作用するんであればその曲げ戻し揚力が杭の控えと基礎の評価で、
2:06:23	考慮される必要があると思うんですけどそれは考慮されている、いるんでしょうか。
2:06:29	日本語名カミタイラですと指摘の点ですが、基礎評価に当たっては去年のキャンペーンで入っておりますが、食い止めでもCに関しては基礎に別途入力することで評価は行われております。
2:06:51	規制庁の武田です。わかりました。こういった曲げモーメント思い戻し応力も考慮しているということでしたら、理解しましたけどその辺もちゃんと明記していただいたほうがよろしいかと思いますので、お願いいたします。
2:07:04	それともう一行ちょっと関連するんですけど、48 ページの濃いの評価で、

2:07:10	当区イトウの曲げモーメントだけ考慮されているんですけど、地中部分の曲げモーメントに対しては算定されていないんですけども、これは故意と曲げモーメントのほうが大きいからという理由でよろしいですか。
2:07:28	日本無線カミタイヤです。おっしゃる通り、国とか可決するというございます。
2:07:37	わかりました。では町中部も考慮しても踏まえてM06 イトウの場でも見たほうが大きいというふうな評価をということでそういった評価を行っているということで者そこちゃんと明記するようにお願いいたします。
2:07:54	私これ以上される。
2:08:01	日本のメーカーカミタイヤです。ご指摘承知しました。資料へ反映いたします。以上です。
2:08:08	お願いいたします。
2:08:10	それではその他、この資料につきまして指摘事項等ございますでしょうか。
2:08:18	では次、
2:08:22	はい。
2:08:23	規制庁カミデです。一応 23 についてはちょっとかなり時間がここにもしたけど、話ができたとっているという
2:08:34	で、
2:08:36	これはこういう形での説明が他の建物構築物の時期保育恩恵なりで、
2:08:45	されるよという御あるのかっていうのをちょっと全体の
2:08:50	所で聞きたいんですけど、どなたかお話しできるかといいますか。
2:09:13	ありがとうございます。今回の資料ですね。簡単な新設ということもありましたので、かなりこういう形で説明させていただいたところですかね。そうですね配管機器につきましてはちょっと換金者がいませんで、
2:09:31	ちょっと相談させてください。
2:09:35	規制庁込みですこの 23 番の資料については今いろいろと情報つき加えて欲しいか付け加えるべきという話で、どんどん拡充はされると思っています。ただ、
2:09:51	それが補正にどこまで反映するかっていうところはすべてが反映する事項じゃないので、その辺も明らかにして、最終的な補正に向けてある程度考えをこちらもわかるようにということで進められるツールだと思っているんですけど。
2:10:12	その点、建物系と起電傾動を持っているのかということをお伝えいただければと思います。以前のヒアリングで計算書の内容をまだちゃんと聞いてませんよといったときに何か。



2:10:30	計算書まで読んでないんですかみたいな話を建物をと担当者の方をした場合 ってあってですね、ちょっと腑そいう話をしたところなんですけど、
2:10:45	12月に出てきた経産省に対して、もうすでにかなり反映をしなきゃいけないと ころがあり、
2:10:52	それをどういうふうにするのかと。
2:10:56	いうことでさらに補足説明としてより詳しく示して欲しいところというところもある ので、その辺の認識合わせをいつするのかということ
2:11:06	以前もそういう話をしたんですけど改めてちょっと伝えておいてください。
2:11:16	日本でも並べてございます承知いたしましたかなりあの申請書に紹介しており ますのでですね、やりとりを通じてですね、名簿整備するとか、書き込めると か、
2:11:33	そういったことをですね、あんまり者として、共通認識を建設した形でちょっと紹 介させていただきたいと考えております。以上ですね。
2:11:45	規制庁米三の別に相談は特にいらないんですけど、というふうの説明をされる のか今後の作業方針的なところを説明してもらえばいいと思いますので、
2:11:57	いずれにしてもちょっと検討ください。
2:12:01	承知いたしました。
2:12:10	規制庁タケダです。それでは建物 23 万以上とさせていただきたいと思いま す。
2:12:18	それでは通気が耐震基準 13 でしょうか。欠工認からの変更点について、この 資料につきまして、日本原燃の方から補足で説明がございましたらお願いい たします。
2:12:33	ありがとうございます。耐震基準 13 番ですね、16 日提出資料でございます が、こちらもやっぱり別紙ページ 10 ページに記載してある通りですね、今回、 新規性基準で発表した部分は、
2:12:52	幾つかございますので、それは違うところかという話と、それに伴って特にかち ゅうの条件変わってきますので、それが明らかにした上で、
2:13:07	問題ないことは、
2:13:10	ここに示したぞという判断になってございます。以上です確認よろしく願いま す。
2:13:20	規制庁カミデです。
2:13:23	まず 4 通しの 4 ページ目ですかね。
2:13:28	これもう体裁ですけど、概要としては広域機器配管系の説明だと思えますの で、

2:13:36	ちょっとほかの機電側の記載等を今すぐには湧かないんですけど合わせるように、お願いします。ちょっと合っていないんじゃないかなと思うので、確認の上、お願いします。
2:13:54	ありがとうございます。車移動してですね、記載がちょっと違う箇所について、修正いたします。
2:14:06	あと、4 ページの下のほうで補強設備というのがあって、次のページに行くと既設設備とあるんですけど、これは何なのかよくわからなくて、申請書の添付にある設備リストの変更区分っていうと、
2:14:24	改造とか確認とかって書いてあったりするんですけど、それとの対応とかで、これがどういうふうに位置付けられているものなのかって説明をお願いします。
2:14:46	はい。
2:14:47	規制庁込みですすぐにはかからなければ追って確認して資料に反映していただければと思いますんでこれがどういうものかっていうのをちゃんと明確にしていいただければと思います。
2:15:00	IBMの原です。すいません、申請者によってちょっと確認した事実を示しさせていただきます。
2:15:13	はい。規制庁カミデさん、あと、15 ページまで飛びますけど。
2:15:19	ちょっとこれ、これなんです別紙としてついてるんですけどまた1 ぽつ概要みたいな形で補足説明資料を
2:15:29	これはまた始まっているような形で
2:15:34	何かまだ整理されてないのかなと思うんですけど、これどういう構成を考えてるんでしょうか。
2:15:48	ペネの方でそういうことです。確かにある 15 ページのデータSCM本部神戸ですね。すいませんそれ最初田んぼくり使っていた時の記載のみが残ってございましたので、
2:16:05	機器整備を削除する方向で見直します。
2:16:12	はい。適切にしてもらえれば、
2:16:15	あと上の同じく 12 ページの冷却塔の補強についてと書いてあるんですけど、補強だけ言えばいいわけではなくて、既工認とどうい変更点があったのかということなので、全体補強した補強用改造みたいなイメージには私はとっているんで、
2:16:35	そうではない条件の変更とかも全般ここで
2:16:39	話をできるように、
2:16:43	話をしてください。実態としては入っているのかもしれないんですけど、ちょっとよくわからないので、装填クリアにしてください。

2:16:54	ハザードとして周知したいとしました案先ほどまでですね、申請書の改善を書くという絡みの部分の確認を踏まえまして、ちょっとこちらの記載の通りですね、災害がとれるようにしたいと思います。以上です。
2:17:13	はい、規制庁込みですかと16ページですけど、荷重条件の変更みたいなのを書いてあるんですけどあの結構これからこれになりましたっていうのはいいんですけど、なぜそうしていたのか、機器購入をこう考えていたんですけど今回こう考え方がtonですというところまで説明を
2:17:33	するようにしてください。そういう意味で、積雪荷重について計数が0.5から0.35と変わったところはどういう考えなんでしたっけ。
2:17:59	西松建設の今の御指摘いただきましたところですけども、ちょっと今確認をして別途回答させていただきます。以上です。
2:18:09	規制庁カミデです。
2:18:11	じゃあ、次に行きますけど、
2:18:18	あと18ページですかね表のところで、今回工認の地震動でSD5入っていないんですけど、これはどういうことでしょうか。
2:18:40	資料等に関しましてですねSDの評価につきましては、実際委員等をやって、実際の評価として入ってきたとしておりますけれども、今回冷凍の稟議吸着等に与える地震動としても先生は、
2:18:56	大きいというところで、まず試験設備の保護記載していないというところになっております。以上です。
2:19:04	規制庁込みです。そうすると、既工認のSOは一体何なのかっていう気がして記載の
2:19:12	入力が統一されていないように思いますので、
2:19:18	結果を省略しているからということ等かもしれないですけど。
2:19:24	その辺実施されているというのを伺ってますし、
2:19:30	ちょっとその辺ちょっと実用と違う制限のようなので、確認して適正化をいただければと思います。
2:19:39	今月末です。承知いたしました。
2:19:44	規制庁カミデですと続く決定へと18ページだとファンのとこパンの駆動部のところですかね、変更されてる内容は、
2:19:58	るんですけど、また耐震性については見ているんでしょうが、ファンそのものの機能ですね、冷却系とか、強度の話とか、について、
2:20:14	この変更を踏まえても、問題ないっていうことはどこで説明されるんでしょうか。
2:20:24	石松調書を作ってください。

2:20:46	イシバシです。重たいと御指摘いただきましたところですがけれども記載がございませんでしたので、
2:20:53	吊具カバーしていただきます。以上です。
2:20:59	追加はそうなんですけども、もしどうい内容と、例えば耐震のところ語られるものでもなくて、第何条のところっていう話ことと思いますけどそこは今わからないですか。
2:21:20	はい。
2:21:21	ユニハンドラ弁につきまして設定と、今ご指摘いただきましたところへ等につきましてもですね、整備確認していけと回答させていただきます。以上です。
2:21:32	はい。もう反映ということだと思いますけど。
2:21:38	やられてるんであればいいですけどやってないのであれば、ちゃんと整理をするようにお願いします。次 19 ページですけど。
2:21:53	ちょっと定着部の変更内容っていうのは、ちょっと文章だけではわからないところがあって、ツーなどで示していただきたいんですけどそれは可能ですか。
2:22:17	日本としましてですね、今ご指摘いただきましたところですがけれども、次のページの 22 ページ目になりましてだめG断面ということにちょっとマスキングがかかっておりますけれども、方に通しまして示してる部分ですね。
2:22:32	対象になります。以上です。
2:22:36	はい、わかりました。ちょっと今手持ちがこれはしかないので国にして何かこんなことをまた確認します。
2:22:44	ほとんど同じ 69 ページですけど、風荷重ってもともと既工認で考慮してないっていう説明もあったと思うんですけど、なぜ既工認の欄にこれが書いてあるのかよくわからないので説明してください。
2:23:13	日本原燃メキ係数工認におきまして課税課長の方なんですけども、風荷重の回答へと地震荷重の場合をそれぞれ比較しまして、あと地震患者の方がいいということで余裕金については別途地震数において結果を示しておりました。
2:23:30	その時の風荷重、一つに使った過程荷重の算出というところで今回管を移設講義いただくところ浪江期待しております。以上です。
2:23:42	規制庁カミデです。そうすると、28 ページの
2:23:47	表の風荷重のところ既工認で未考慮と書いてあるんですけど、そこは
2:23:54	今説明いただいたことをちゃんと書いてもらえれば話が繋がると思うので、
2:24:00	そういう形で適正化をいただければと思います。
2:24:05	日本原燃のメキです。すいません 28 ページのほうはい修正いたします。
2:24:12	規制庁カミデです。あと、20 ページですけど、

2:24:17	右下の凡例のところですね、構造材をいずれかの仕様に交換するって言ってさ、3種類あってですね、どれがどれかわかんないんですけど、このうちどれかですみたいな説明なんですけど。
2:24:32	ちゃんと割り付けがわかるように記載を適正化をいただければとっていろいろなりそういう話だと思うんですけど、ここでしょ。
2:24:46	にしましてそれで今ご指摘いただきましたけども
2:24:50	第2-1のちょうどですね、リンクするような形で記載させていただきます。以上です。
2:25:00	規制庁込みで3台。
2:25:03	第2-1の表と対応するようについていうのか。
2:25:07	ちょっとよくわからなかったんですけど。
2:25:10	もう少しイメージを教えてくださいませんか、日本メキ形成すいません。ちょっと先ほどの発言を修正、訂正させていただきます。先ほどカミデさんからの御指摘はお米でスパを3種類書いているものはサトウの
2:25:26	ダンプ面倒書いてる経営の不在になるのかという御指摘かと思しますので、例えば今いろいろとその部材ごとに色を変えるですとか何かあまりなんかをつけて割り振りをつけるだとか、そういった形でこの2の部の
2:25:46	の中で、当伊方層の部材がわかるような形で修正させていただきます。以上です。
2:25:54	はい。
2:25:55	規制庁込みですね、何もし、
2:25:59	税後次21ページ。
2:26:05	この3ポツで示していることが何を言いたいのかよくわからないんですけど、解説していただけますか、ほかのタイトルがよく特によくわからないんですけども、何を
2:26:18	e. ですかね。
2:26:34	日本原燃の石松です。今ご指摘いただきました通りちょっとわかりにくい表現がなっているんですけども、ここで表現したかったことがですねまず解散の位置図で、まずは評価対象えと今回良いと冷却塔の評価対象との分離してまずっていうところと、あとはステート今後高齢化ですねさん。
2:26:54	まず第3-2図ですね、ではですねまず評価のフローの流れとか、この円筒明かりのみ記載しておりまして、まずはちょっとこれをデータ等を外に飛んでいるかというところを書きたかったんですけども、図書館がちゃんと記載されていませんでしたので、別途修正させていただきます、いただきます。以上です。
2:27:13	規制庁カミデです。資料を読み込んでいるわけではないんですけど、これを

2:27:22	もう既工認からの変更点をこうですという話があったといきなり変更点でも何でもない評価部位があり、それともさらに関係なさそうな配管支持標準支持間隔とも含んだ
2:27:38	フローが示されるのはとても理解できないので、
2:27:43	ちょっと資料の精査も例だとは思いますが、確認しておいてください。
2:27:50	増減します。承知いたしました。
2:27:57	規制庁カミデです。続けて 24 ページで、
2:28:05	4-1 表の中で、既工認と今回のモデルを
2:28:11	評価、被告してるんですけど。
2:28:16	ちょっと、
2:28:17	なかなか理解できないのがもともと集中質点系でやってるものを正してんぼりに変えましたといった時点で
2:28:27	ヨウ素数だとか設定する比べたところで仕方がなくてですね。
2:28:31	もっと上流の話でこんなに違うんですよそれに対して気をつける言葉なんですよみたいなことが上流であって、単純な全然違う考え方のモデルの
2:28:45	項目を並べる必要ないと思うんですけど、その辺ちょっと三つ記載どうという記載であるべきかというのを少し考えていただければと思いますけど、一般にはでしょ。
2:29:05	日本原燃島先生、今ご指摘いただきました件ですけれども整理して集中的に修正いたします。以上です。
2:29:17	はい。8 等を 25 ページですが、
2:29:23	(3) 番の説明で
2:29:26	何を
2:29:28	言っているのこういう高校の確定、ここで出すものあれですか、1.2ZPAのあるものを出そうとしてるんですかね。
2:29:41	日本原燃島先生。
2:29:43	認識の通りだなと。おっしゃる通りです。以上です。
2:29:49	規制庁込みですじゃあFRSをどうやって作ったんですか。
2:30:11	tsrたいといった思想リファレンスの人間のイシバシ先生FRSの件につきましては、
2:30:19	背景申請で現行耐震計算書を出してますけれどもその中で隻をスペクトルの作成方針とそれに伴うそれに伴って作成した人スペクトルが耐専計算書の中に記載されておりますので、その中でZPAの
2:30:37	というのはですね、唐突に出てきたので、こちらのほうで補足させていただいたということになります。以上です。

2:30:45	規制庁込みでサガワのもので、今この 25 ページに示されたモデルからFRSも 1.2ZPAもうつくりましたっていう説明ですか。
2:31:09	日本ユニシス、旅館とスペクトルにつきましてはこのモデルではありません。
2:31:16	そういう態度になります。以上です。
2:31:18	はい、規制庁工水そう思っていて、地盤連成系のSRモデルとも作ってたと思っ ていて、そこにある 1.2ZPAPMO同じモデルの地盤連成系のSRモデルから 最大応答加速度を各フローの部分と、
2:31:36	って言ったんだと思ってそれを 1. 二倍してたんだと思っていたんですけど、こ の 25 ページから算出したと言われて非常に混乱してます事実関係を教えてく ださい。
2:32:17	西本先生で棟すみません、ちょっとその事実関係ですけれども、これから直 して再度別途回答させていただきます。以上です。
2:32:26	規制庁カミデです。コリウム市といずれ整理、そんなに
2:32:34	おそらくモデルが違うっていうようなことをやられてないんだと思うので、最初 の御回答が違ったんだとは思ってますけど。
2:32:42	いずれ説明していただければと思います。
2:32:47	続けて 26 ページですけど、
2:32:54	ここも、材料物性を比べることにどれだけ意味があるのかモデルが今回全然 違う話なのに、
2:33:05	これを比較することにどんな意味があるのかよくわからなかったんですけど。
2:33:11	ちょっともう少し説明というか、これを示せばどういうことが
2:33:17	説明できると思って比較して示しているのか少し説明してください。
2:33:47	日本が三島先生、投資企画につきましては、
2:33:52	ちょっと効率化ですね変更になっているところもありましたので、ちょっと記載 させていただいたところになります。以上です。
2:34:09	規制庁カミデです。
2:34:12	この記載に特にどうこうというわけではないんですけど、何か、なぜこういう資 料構成にしたかぐらいは説明できるように、
2:34:24	なっていたらと思います。今のところ何か情報建つところ説明を加えて 欲しいというところでは、
2:34:31	ないんですが、ちょっとその辺はよろしく願います。次行きますけど中銀 27 ページ。
2:34:42	ですが、
2:34:45	ちょっとさっきの 26 ページの 4 ポツでの説明等この 5 ポツでの説明内容か、 どういう違いがある残す方してもらえますか

2:34:58	ちょっと、
2:34:59	対象が違うんだと思うんですが、2426 ページは何に対する説明
2:35:06	27 ページはどこに対する説明という形で教えてください。
2:35:30	新鹿児島線せえ等の御指摘いただきましたところですが、安全冷却水で冷却塔の応答解析と応力解析の違いになります。以上です。
2:35:46	規制庁カミデです。具体的にはどのモデルですみたいなのか、何ページ、これは、
2:35:52	何ページのモデルから 7 ページのモデルっていう形で説明いただけると助かるんですけどいかがでしょう。
2:36:18	はい。
2:36:22	日本三島先生系統。
2:36:25	モリノb図面がありますけれども、24 ページに記載しております。今回設工認のモデルと言っているものを絵と称してございます。
2:36:35	以上になります。
2:36:38	規制庁管理するそれが 26 ページの説明ですか。
2:36:54	日本原燃の市村先生。
2:37:03	こちらも同じモデルを使っております。以上です。
2:37:08	規制庁カミデさんの比較が 4 ポツ 1、4 ポツと 5 ポツで分かれていてこの違いは何ですかといったら、
2:37:17	応力解析モデルと応答解析モデルの違いですって、それぞれモデルは何ですかといったモデルは一緒ですと言われていると、ちょっと混乱してしまうんですけど、ちょっと私の理解の仕方が良くないのか。
2:37:31	もう少しわかるように説明いただけますか、なぜ表を同じモデルの説明するのになぜ表分けているのかとかよくわからないんですが、少し説明を加えてください。
2:37:53	メキです。すみません 23 ページの評価のフロー図と、
2:38:00	そこをちょっと見ていただきたいんですけども少しちょっとさっきの資料なんだの構成の話でちょっと御指摘のほうをいただいてたんですけどもこのフローの中でですね支持架構の応答解析モデルということで、兵庫開始から暴行目ぐらいのところにありましてまず行動と解析をやっていますので、その応答解析
2:38:20	2 系統相当する部分として、4 日のこういったモデルを作ってドーズミカミますよというのを示したの業務に支障になってます。別の後ですね等々解析モデルから今度解析に



2:38:39	評価として流れていきましてその流れた先の東翼評価モデルにつきましては無理としたような準備を使っているんですけども、評価の流れとして、次のポツとしてまた同じようなことを書いてあるんですけども、評価モデルの変更点と。
2:38:56	いうことですがけれど資料のほうを作成しておりました。
2:39:00	以上です。
2:39:03	規制庁カミデですそうなるとフローには
2:39:08	力解析モデルというのもの、
2:39:12	特に書かれていなくて多分フローも整理できてないのかなと思いますので、
2:39:18	全体的に何の話をしているのか、
2:39:23	瀬そちらがまず説明力量に不安説明しやすいように資料を作っていただくということも大事だと思うので、適正こうお願いします。
2:39:36	日本原燃諸説承知いたしました。
2:39:43	あと、
2:39:46	27 ページ同じですね。
2:39:49	境界条件後、同じというふうになってるんですけど。
2:39:56	モデルが
2:39:59	違っているのに、境界条件後、
2:40:02	こんな時の
2:40:04	日本集中質点系統と実験系で飛散評価状況同じって言うのはちょっと理解に苦しむんですけど、どういうことを意図してるんですかね。
2:40:29	西村先生、今評価条件のところですけども、取り組み、
2:40:35	はい。
2:40:37	24 ページに記載して再生起こりますモデルの投与円筒違う施設工認時モデル。
2:40:47	いうところになりますけれども、所とも下段等も末端の一つ書いたところですね、今回の御説明に 12 モデルの足悪いさせがあるというかですね、アスファルト部分っていうところが、それこそそのモデルの値切れ目っていうところがですね柱の
2:41:05	端部ということになっておりますので、こういう記載をさせていただいております。以上です。
2:41:13	淘汰知ってんの注脚部一つ一つの高速
2:41:18	条件等をその他知ってんの。
2:41:21	での一番ことの拘束条件は同じにしてるっていうことですか。
2:41:44	もう見せ鉄塔等につきましては、ちょっと今確認と協議しておりますので、ちょっとまた別途回答させていただきます。以上です。

2:41:55	規制庁カミデです反応た知ってんのを全部合わせてクーラーが同じですって 言ってるのかもしれないですけど、ちょっと定年に事実関係に沿って記載をい ただければと思います。
2:42:10	どうももしかして先ほど私が言ったような状態なのであれば、そういう説明をし ていただければ。
2:42:17	なんでですかっていう話を展開していこうと思いますけど。
2:42:21	発想は、
2:42:29	28 から 28 ページの表は、
2:42:34	地震荷重との組み合わせの欄に誤記ゴールと思うのでそれは見といてくださ いともちょっとこれはどうでもよかったです。
2:42:43	あと 31 ページ。
2:42:47	あと 33 ページなんですけど、ちょっとモデル図だけだとなかなかイメージがつか ないので、ちょっと図面も一緒にし掲載するようにお願いします。
2:43:02	日本原燃始末する承知いたしました。
2:43:08	はい、ちょっと規制庁カミデですと 32 ページ。
2:43:19	これをIと地震荷重の組み合わせのところっていう
2:43:30	すみません。違う組み合わせ荷重の設定の地震荷重で、
2:43:34	当地震動っていう言葉を防護するんですけど。
2:43:39	これはどういうことなんですかね、時刻歴派でやって標高したっていうことなん でしょうか。
2:44:21	日本イシバシせえ等を実施してとこの地震荷重のところにつきまして、3 回の 地震動というところへと記載させておりますけれども、
2:44:33	大塚もですね評価に使用して
2:44:37	ショーワみずからの耐震評価に支障下へと自信過剰というところがZPAにな るんですけども、そちらの方がですね産廃の地震動まだのスズキ先ほどあ のカミデさんの方がおっしゃったちょっと時刻歴から算出されるものになります けれども、
2:44:54	どうぞそちらをちょっとこれの記載の記載ですとちょっとそこが読めないよう になっておりましたので、ちょっとそこがわかりやすくなるように記載のほうを修正 いたします。以上です。
2:45:07	規制庁込みですと 1.2ZPAを地震動と呼ぶ人はなかなかいないと思いますし、 いずれにして持つ地震動とか地震力とか、1.2ZPAんでもうなのかもしれない ですけど言葉の使い方をちょっと
2:45:29	ちゃんとチェックいただかないといけないと思いますので、
2:45:33	よろしく申し上げます。私の方、これを

2:45:38	耐震き電 13 については以上です。
2:45:47	規制庁タケダです。その他、本資料につきまして確認事項等ございましたらお願いいたします。
2:45:57	日本原燃すいません。すいません。最初のほうに系統もらっておりました。指摘事項としまして、共用設備というところとあと既設設備というところでの言葉の二つの意味っていうところで、ちょっと確認させていただきましたというやつの回答としまして、既設設備というところは今回、すべて
2:46:19	金かできちんと既設工認の中でお出ししている設備になりますしたり、その中で補強抜本かも。
2:46:25	補強が必要となったものっていうところも共用設備という系統の仕方にしてございます。以上です。
2:46:35	規制庁込みです。この資料だけで出てくるのであればまたそういう整理が可能なかもしれないですけど、先ほど言ったように設備リストでの変更区分との書き分けとかですね。
2:46:50	あとはおそらく補強という表現等、改造っていう表現も、感じだと入り乱れているような気がするんですが、その辺をちゃんと整理した上で定義をいただかなければいけないので引き続きちょっと確認いただければと思います。
2:47:10	日本原燃しましてですね、承知いたしました。
2:47:19	規制庁のハバサキです。
2:47:23	議連 13 の資料でちょっと内容について 1 点確認したいんですけども、15 ページの真ん中ぐらいのところですね 2 ポチの両括弧 1 基本構造で日冷却塔に関しては、校正を通して観測とファンとファン駆動部と
2:47:41	1 時間学校があるということでこのうち、構造部材として見込んでいるものはどれでしょうか。
2:48:00	すみません、ちょっと今ご指摘いただけますか県警と支持架構とります。以上です。規制庁浜崎です。そうすると、24 ページに支持架構についての説明があって給湯新旧のモデルの違いで、
2:48:15	今回設置詳細なモデルになってまして、私の理解ですと、今回のこの三次元のモデルルームのオプションが押して等価な剛性を出したのは、支店系のモデルになって、その質点系のモデルを応答解析したのが添付の
2:48:32	資料に反映されているという理解ですが、それはその理解でよろしいですか。
2:48:48	日本が三島先生、すみません、ちょっともう一度
2:48:52	御質問があってもよろしいでしょうか。はい、24 ページ構造部材として見込んでいるのは支持架構ですという回答ですので、24 ページに支持架構のモデルの新規のモデルも出てまして、今回モデルを

2:49:09	耐震のモデルオオオカAと精細なモデルにするということ
2:49:15	この 24 ページの今回設工認議モデルっていう複雑な三次元のモデル、これをプッシュオーバーをして荷重変形関係を求めて等価なせん断系に置き換えて、それが、
2:49:31	添付の地震応答解析を行っている指定系のモデル
2:49:36	それをつくったもとはこの三次元のモデルから出来てるということよろしいですか。それとも他に何か構造部材があるということでしょうか。
2:49:50	日本原燃島先生ご認識の通りにする。以上です。規制庁ハバサキです。
2:49:55	そうするとですね今 24 ページ或いは先ほどもあった 25 ページの説明のところに、
2:50:00	この
2:50:02	今回工認時のモデルの詳細のモデルも、地震応答解析モデルの位置付けになってるんですけども、鉛直についてもそうなんですけども、ということは支店系統簡易な質点系とこの二つの三次元のモデル、両方の地震応答解析をやっているという理解でよろしいですか。
2:50:37	日本原燃します。少々お待ちください。
2:51:20	今後につきましてせえっと、今ちょっと御指摘いただきました通り、ちょっとこれ、この記載程度ですとちょっとお勤めの繋がりというところがわからない。
2:51:30	ておりますので、まずはちょっとそこをサイドですね確認させていただいた上で、資料にて定期的説明別途追加追記していきたいと考えておりますので、
2:51:40	伝えております以上ですはい規制庁ハバサキです。そうすると 23 ページにフロートが出てて、真ん中ぐらいにしようとか設計あるんですけども、この地震応答解析って。
2:51:53	どのモデルをの地震応答解析の話になるんでしょうか。
2:52:13	日本メキSAと 23 ページ第 3-2 図のほうに記載しておりますAと地震応答解析で使用しましたモデルにつきましては、
2:52:25	24 ページで 4 ページで示しております。ボタン建設工認時モデルと
2:52:32	いうことでお示したモデルを使って当応答解析のほうを実施しております。
2:52:38	以上です。
2:52:40	規制庁浜崎です。理解しました。その結果を使って、
2:52:47	ファーム伝熱管等の検討されているということで理解しました。
2:52:54	そうすると、添付の地震応答計算書の応答結果は使ってないという理解、要はファンの解析だとかですね、連通管能力評価には使っていないという理解でよろしいですか。

2:53:18	一部判明しましてですね、検討をちょっと確認させていただきたいんですけども、デンプルをされているものは
2:53:28	すみません、これはちょっと御教示いただきたく、
2:53:32	規制庁川崎ですけれども、23 ページのフローの中で地震応答解析等や書いてあるこの応答解析は 24 ページになり 25 ページに出ている、今回、
2:53:45	設工認時のモデルを使っているという回答でしたので、それを使った応答解析を使っての結果をもとにファンの動的機能維持評価とか、伝熱管の応力評価をされていると。
2:54:00	いうことでよろしいんですよね。
2:55:04	日本原燃島先生少々お待ちください。
2:55:48	自分のことです。すみません確認時間がかかっておりますので、もし質問があれば、そちらのほうインセンティブいたします。
2:55:58	規制庁ハバサキです。質問の趣旨はこの複雑な三次元のモデルと地震応答解析で使う応答結果が出てます。簡易なかいなというかな失点系モデル、これの使い分けをされているのかどうか、使い分けをされているならどういった使い分けをしているのかどうか。
2:56:18	について説明をしてくださいということですので、次回以降ちょっと準備をお願いします。
2:56:27	規制庁のハバサキからは以上です。
2:56:31	以上です。承知いたしました。
2:56:40	規制庁込みですとちょっともう時間も時間なのでお伝えしておきますけど、今日ちょっと竜巻起因
2:56:49	防護ネットあと冷却塔の今の話とかでもなかなかすぐに回答を得られなくて、ヒアリングが進まないというところだったので、ちゃんとやっている方は分かっている方に出席いただかないと、どんどん時間をとられると思いますし、
2:57:10	今日の受け答えの感覚だと、この資料の修正も本当にすぐできるのかなっていうところがあってですね、どんどんどん時間だけが過ぎてなおしの仕様がでてこないっていうことを若干懸念するようなされるような
2:57:30	ヒアリングドットと思いますので、きちんと体制ヒアリング後、資料の構成もですね、資料の修正に対してもきちんと体制を組んで滞りなくできるようにと。
2:57:45	いうところで改めてよろしく申し上げますこちらとしては別に早く終わらせるつもりも特にないんですがそちらの意向として、そういうことだと思っておりますので、そうであればきちんと体制を組んで、
2:58:01	対応するようにお願いします。以上です。

2:58:04	日本原燃メールです。経営責任者とアメリカで等対策で対応しますっていうんです。
2:58:14	規制庁の武田です。ちょっともう時間も時間ですした文献の提示はもうなっているかと思しますので本日予定は西端ですけど終わらなかったためについては次週以降等させていただきたいと思うんですが、日本原燃それでよろしいですか。
2:58:43	もう
2:58:45	例えば、
2:58:49	中身の説明です。はい、了解いたしましたちゃん 20 沿岸部の勾配に整形という事で準備いたしたいと思います。
2:59:00	規制庁タケダです。わかりました。ではまた事務局を通じててまだその辺のスケジュール等調整させてもらえればと思いますので、よろしく願いいたします。
2:59:10	よろしいですか。はい、よろしく願いいたします。はい。それでは本日のヒアリングは以上とさせていただきます。日本原燃から何かございますか。
2:59:22	タニグチですから、特にございません。
2:59:27	はい、わかりました、規制庁側もよろしいですか。
2:59:30	それでは本日のヒアリング以上とさせていただきます。お疲れ様でした。
2:59:36	わかりました。